USBポート対応ネットワークケーブル

USB-LINK

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

39163-02

【本書での呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98/95	Windows Me, Windows 98,の総称
Windows XP/2000	Windows XP, Windows 2000の総称
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98,の総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

もくじ ····· i
安全にお使いいただくために ····· iv
本製品が使用できるまでの流れ ····· vii
本製品の特長 ····· viii
その他使用上の注意 ····· x

第1章 使う前に ····· 1

箱の中の確認 ····· 2
本製品を利用できるパソコン ····· 3
各部の名称・機能 ····· 4

第2章 使用するモードを決める ···· 5

使用するモードを決める ····· 6

第3章 ピア・ツー・ピアモードで使う 11

ステップ1 サポートソフトをインストールする ··12
ステップ2 パソコンに接続する ····· 18
ステップ3 接続が正常かを確認する ····· 22
Windows XPでの確認 ····· 23
Windows 2000での確認 ····· 25
Windows Me/98での確認 ····· 27
ステップ4 使ってみる ····· 29
ユーティリティの起動と終了 ····· 29
ファイルを転送するには ····· 32
相手先パソコンのファイルを
表示・印刷するには ····· 34
別の相手先パソコンに切り替えるには ····· 36
ステップ5 [Peer to Peerユーティリティ]の機能一覧・38

第4章 ネットワークモードで使う･･･45

ステップ1 サポートソフトをインストールする ･･46
ステップ2 パソコンに接続する･･･････････････55
ステップ3 接続が正常かを確認する ･････････57
Windows XPでの確認 ････････････････58
Windows 2000での確認 ･･････････････61
Windows Me/98での確認･･････････････64
ステップ4 ネットワークを設定する ･･･････････67
Windows XPでネットワークを設定する ････････69
Windows 2000でネットワークを設定する･･･････76
Windows Me/98でネットワークを設定する･････82

付録 1 困ったときには ····· 91

付録 2 ネットワークコンポーネントのインストール ····· 101

付録 3 TCP/IPでのIPアドレス設定 · 124

付録 4 既存のネットワークとの接続 132
（[ネットワーク中継プロトコル]）

付録 5 サポートソフトを削除する場合 149

付録 6 用語解説 ····· 151

付録 7 仕様 ····· 153

PLANTコールセンターへのお問い合わせ ····· 154
サポートソフトのバージョンアップ ····· 155
保証について ····· 156
修理について ····· 157

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。



本製品を接続する場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。

- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品が使用できるまでの流れ

本製品は、USB接続PCリンクケーブルです。
本製品を使用する場合は、以下の流れに沿ってお読みください。

第1章 使う前に

本製品を使う前に必要な確認・準備を行います。

- 箱の中身を確認します。
- 本製品を使用できるパソコンの機種やOSを確認します。
- 各部の名称・機能を確認します。

第2章 使用するモードを決める

ご使用のネットワーク環境に応じて以下のいずれかの使用するモードを決めます。

- *ピア・ツー・ピアモード*
- *ネットワークモード*

使用するモードに応じて設定し、本製品をご利用ください。

第3章 ピア・ツー・ピアモードで使う

ピア・ツー・ピアモードで使用する場合にお読みください。

第4章 ネットワークモードで使う

ネットワークモードで使用する場合にお読みください。

本製品の特長

■ *USBポート接続で、手軽にネットワーク構築*

接続時には、パソコン本体ケースを開ける必要もなく、工具も不要です。
特別なネットワークOSもいらず、用意するものは接続したいパソコンと本製品だけです。

■ *バスパワー動作対応で外部電源不要*

■ *ファイルとプリンタの共有ができる[ネットワークモード]と、ファイル高速転送ができる[ピア・ツー・ピアモード]の2モード対応*

※すべてのパソコンでどちらかのモードに統一する必要があります。
設定は添付のサポートソフトで行います。

《ネットワークモード》

常時パソコンを接続し、ネットワークを最大限に利用したいユーザーにおすすめのモードです。

特長	・*複数のパソコン間※1で他のパソコンのドライブ(フォルダ、ファイル)を共有できる* Windowsのネットワーク機能を使うので、Windowsアプリケーション使用時には自分のパソコンにあるハードディスクと全く同じ感覚で他パソコンのドライブ(フォルダやファイル)を使用できます。 ・*複数のパソコンでプリンタを共有できる* 他のパソコンに接続したプリンタを複数のパソコンから使用できます。 ・*ネットワーク対戦ゲームを楽しむことができる*
転送速度	使用するプロトコルによって異なります。 ・TCP/IP使用時　→　約4Mbps ・NetBEUI使用時　→　約3Mbps ・IPX/SPX使用時　→　約2Mbps

※1 パソコンを3台以上で本製品を利用するには、本製品が以下の本数分必要です。

接続したいパソコンの台数-1

例)3台で利用する場合は2本、5台で利用する場合は4本

別途、USBハブが必要になる場合もあります。

《ピア・ツー・ピアモード》

フロッピーディスクなどでのデータのやりとりに限界を感じているユーザーにおすすめのモードです。

特長	・2台のパソコン間でファイル転送ができる ・設定が簡単（添付のサポートソフトをインストールするだけ） ・ネットワークプロトコル（TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX）は不要 ・エクスプローラに似た操作の専用ユーティリティを使って 簡単に高速なファイル転送ができる
転送速度	約6Mbps

■ Plug&Play、Hot Plug対応（ピアツーピアモード時のみ）

■ USB Spec. Rev 1.1準拠

その他使用上の注意

・使用上の注意

・１台のパソコンに接続できる本製品は最大４本です。
これは同一ネットワークアダプタの接続台数は４台までという、Windowsの制限によるものです。

・複数台接続を行った場合、本製品を複数接続しているパソコンの処理速度は、接続している本数にしたがって低下します。
また、本製品を経由する本数が多いほど、ネットワーク上の処理速度（ファイル転送速度など）が低下します。

・本製品は、［ネットワークモード］と［ピア・ツー・ピアモード］のどちらかのモードでのみ使用できます。（「サポートソフト」のインストール時に該当するセットアッププログラムを起動してインストールします。）
選択したモードを変更したいときは、インストールしたサポートソフトをアンインストール（削除）してから、再インストールする必要があります。

・本製品を使用する場合は、すべてのパソコンで同じモード（［ネットワークモード］または［ピア・ツー・ピアモード］のいずれか）に設定する必要があります。モードを混在させて使用することはできません。

・本製品はパソコンの「スタンバイ」、「スリープ機能」、「レジューム」、「ハイバネーション」には対応しておりません。
本製品を使用する場合は、これらの機能は無効に設定してください。

・修理について

・本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。（【修理について】(157ページ)参照）
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

第1章

使う前に

この章では、本製品をパソコンへ接続する前の準備について、順を追って説明しています。

箱の中の確認 ····· 2
箱の中身を確認します。

本製品を利用できるパソコン ····· 3
本製品に利用できるパソコンを確認します。

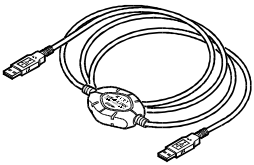
各部の名称・機能 ····· 4
本製品の各部の機能・名称を確認します。

箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

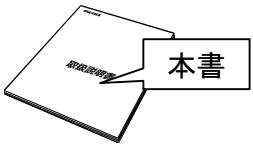
☐ 本製品（1本）
［ケーブル長：約2m］



☐ ハードウェア保証書（1枚）



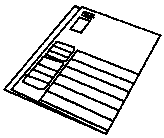
☑ 取扱説明書（1冊）



☐ サポートソフトCD-ROM（1枚）



☐ ユーザー登録カード（1枚）

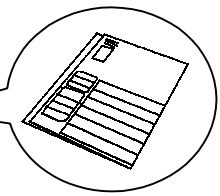


☐ ハードウェアシリアルNo.シール
（1枚）



※ハードウェアシリアルNo.シールを
ハードウェア保証書とユーザー
登録カードに貼ってください。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



本製品を利用できるパソコン

本製品の利用できるパソコンを確認します。

対応機種	USBポートがあり、MMX Pentium 166MHz以上（200MHz以上推奨）のCPUをもつ、以下の機種 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。
対応OS （日本語版のみ）	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98
USBポート	接続する各パソコンに1つ以上必要
CD-ROM ドライブ	サポートソフトのインストール時に必要
データのやりとりができるパソコンの台数	ネットワークモード※1設定時： 理論上は17台※2（推奨は5台以下） ピア・ツー・ピアモード※1設定時： 同時に2台
必要なネットワークプロトコル	*本製品を[ネットワークモード]※2で使用時* 以下のいずれかのプロトコルが必要です。 ※データのやりとりを行うパソコン同士は同じプロトコルが必要です。 ・TCP/IP ・NetBEUI ・IPX/SPX *本製品を[ピアツーピアモード]※2で使用時* プロトコルは必要ありません。（プロトコルがなくても動作します。）

※1 本製品には、[ネットワークモード]と[ピア・ツー・ピアモード]の2つのモードがあります。設定はサポートソフトのインストール時に行います。モードの詳細については、【第2章】(5ページ)を参照してください。

※2 3台以上のパソコンで本製品を利用したい場合は、本製品が*以下の本数分必要です。*

本製品を利用したいパソコンの台数 － 1

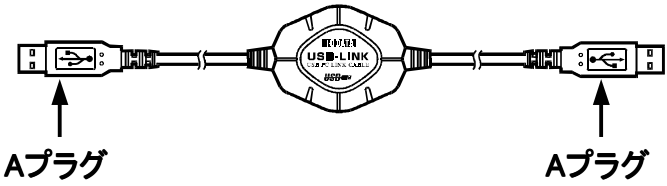
例）3台で利用する場合は2本、5台で利用する場合は4本

別途、USBハブが必要になる場合もあります。

ただし、接続する台数が増える毎にファイルの転送速度が遅くなる場合があります。

各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認を行います。



Aプラグ	パソコン（またはUSBインターフェイスやUSBハブ）のUSBポートに接続するプラグです。

※両端のコネクタ（プラグ）はどちらも同じものです。

第2章

使用するモードを決める

本製品は２つのモードがあります。
モードによって設定手順が異なりますので、使用する前に最初にモードを決めておく必要があります。
ここでは、そのモードについて説明します。

使用するモードを決める ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
使用するモードについて説明します。

使用するモードを決める

本製品には、以下の２つのモードがあります。

・*ピアツーピアモード*

・*ネットワークモード*

本製品の2つのモードについて

本製品では、インストール時に使用するモードを選択します。モードを変更したいときはサポートソフトの再インストールが必要になりますので、以下の特長および次ページ以降を参照し、ご使用方法に適したモードを決めてください。



注意！

・一度設定したモードを変更したいときは、インストールしたサポートソフトをアンインストール（削除）し、再度使用したいモード用にインストールし直す必要があります。

・モードはすべてのパソコンで同じモードにする必要があります。

●*2つのモードそれぞれの長所*

ピア･ツー･ピアモード	ネットワークモード
・*2台のパソコン間でファイル転送可能* ・*設定が簡単* 添付のサポートソフトをインストールすれば使用できます。 ・*エクスプローラに似た操作の専用ユーティリティで簡単で高速なファイル転送可能* ・*接続したパソコンの全ドライブへアクセス可能* ・*パソコンが起動した後でもケーブルを接続すればすぐに使用可能*（Hot Plug対応） ・*ネットワークプロトコル（TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX）は不要*	・*複数のパソコン間で他のパソコンのドライブ（フォルダ、ファイル）を共有可能* Windowsのネットワーク機能を使うので、Windowsアプリケーション使用時には自分のパソコンにあるハードディスクと全く同じ感覚で他パソコンのドライブ（フォルダやファイル）を使用できます。 ・*複数のパソコンでプリンタを共有可能* 他のパソコンに接続したプリンタを複数のパソコンから使用できます。 ・*Windowsのセキュリティ機能を使うので、パスワードを使ったり、使用フォルダを限定することが可能* ・*ネットワーク対戦ゲームを楽しむことも可能*

●2つのモードそれぞれの短所

ピア･ツー･ピアモード	ネットワークモード
・*通常のWindowsアプリケーションから直接、他のパソコンのドライブにファイルを保存できない* 自分のパソコンに保存後、専用ユーティリティで転送）。 ・*データのやりとりができるパソコンは同時に2台だけ* ・*プリンタの共有不可*	・*ネットワークや共有の設定が必要* ・*Hot Plugには非対応* 本製品を使用するには、パソコンの電源を入れる前にすべての本製品をパソコンに接続しておく必要があります。

モード選択のポイント

モードの選択はお使いのパソコンの使い方、パソコンの台数、本製品の本数、USBハブのありなし、また、今後の拡張性などを考慮した上で決めてください。以下はモードを決める際の参考例です。

・2台のパソコンだけ（プリンタの共有なし）でデータのやりとりを行う場合
・面倒な設定をしたくない場合

⇨ **ピア･ツー･ピア**

・3台以上のパソコンでデータのやりとりを行う場合
・プリンタを共有したい場合
・パソコンを常時接続してネットワークを最大限に活かしたい場合

⇨ **ネットワーク**

次ページ【パソコンの台数と本製品のモードについて】も参照後、選択したモードに応じて、以下へお進みください。

・*ピア･ツー･ピアモードの場合　→【第3章】(11ページ)へ*
・*ネットワークモードの場合　→【第4章】(45ページ)へ*

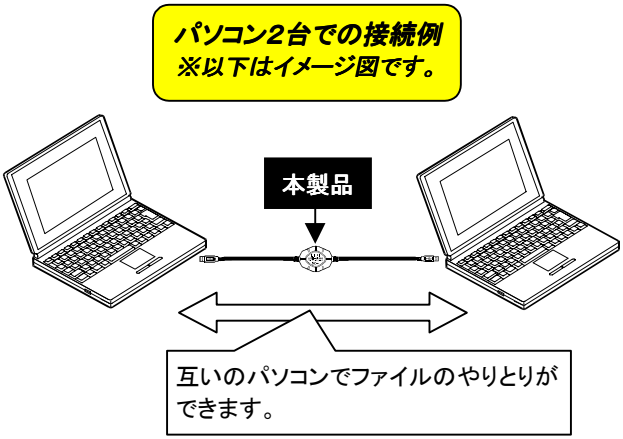
パソコンの台数と本製品のモードについて

ここでは、使用するパソコンの台数と使用したモードでのファイル転送できるパソコンの関係について説明します。

●パソコン2台で使用する場合

お互いのパソコンのUSBポート同士を、本製品で接続するだけの、もっとも簡単な方法です。

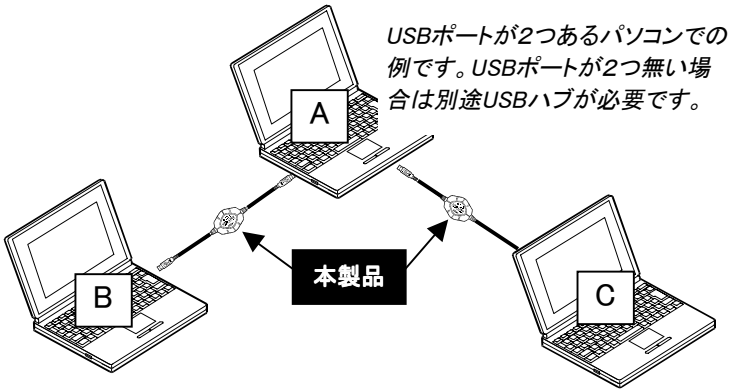
必要なもの	・パソコン2台 ・本製品1本
本製品のモード	[ピア･ツー･ピア]および[ネットワーク]のどちらのモードでも互いのパソコンにファイル転送ができます。



●パソコン3台で使用する場合

必要なもの	・パソコン3台 ※USBポートが2つあるパソコンが必要です。USBポートが2つあるパソコンが無い場合は別途USBハブが必要です。 ・本製品2本
本製品のモード	モードによって互いにファイル転送できるパソコンが異なります。 ・ピア・ツー・ピアモードの場合 パソコンAとB間、パソコンAとC間のみ転送できます。 ・ネットワークモードの場合 すべてのパソコン間（AとB間、AとC間、BとC間）で転送できます。

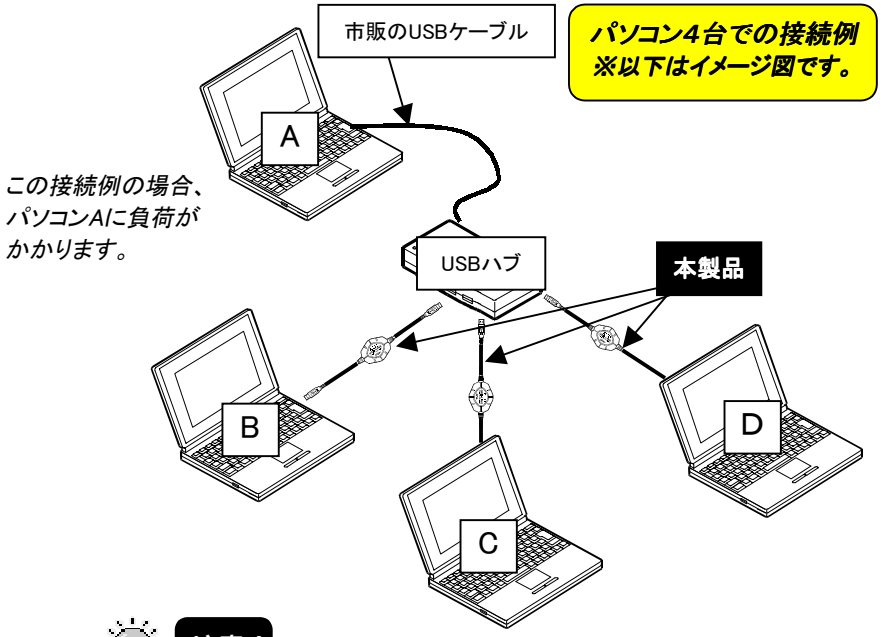
パソコン3台での接続例
※以下はイメージ図です。



USBポートが2つあるパソコンでの例です。USBポートが2つ無い場合は別途USBハブが必要です。

●パソコン4台以上で使用する場合

必要なもの	・パソコン（使用台数） 本製品をネットワークモードで使用時は、最大17台まで ・本製品（必要数） 必要数：*本製品を利用するパソコンの台数－1 （本）* ・USBハブ（必要数）
本製品のモード	モードによって互いにファイル転送できるパソコンが異なります。 ・*ピア・ツー・ピアモードの場合* 本製品1本のみを介したパソコン間でのみ転送できます。 例えば、以下の図の例では、パソコンAとB間、AとC間、AとD間のみ転送できます。 ・*ネットワークモードの場合* すべてのパソコン間で転送できます。 例えば、以下の図の例では、A、B、C、D間のすべての間で転送できます。



この接続例の場合、パソコンAに負荷がかかります。

注意！

接続する台数が多くなるにつれ、転送など処理速度は低下します。

第3章

ピア・ツー・ピアモードで使う

この章では、本製品を「ピア・ツー・ピアモード」で使用する場合の手順について説明します。

ステップ1 *サポートソフトをインストールする・・・12*
「ピア・ツー・ピアモード」でのサポートソフトのインストール手順について説明します。

ステップ2 *パソコンに接続する ・・・・・・・・・・・・・・・18*
パソコンへの接続手順について説明します。

ステップ3 *接続が正常かを確認する・・・・・・・・・・22*
正しくパソコンに接続できているかをパソコン上で確認する手順について説明します。

ステップ4 *ユーティリティを使ってみる・・・・・・・・・29*
活用するためのユーティリティソフトについて説明します。

ステップ5 *[Peer to Peerユーティリティ]の機能一覧・・・・38*
[Peer to Peerユーティリティ]の機能一覧について説明します。

ステップ 1 サポートソフトをインストールする

ここでは、[ピア･ツー･ピアモード]を使用する場合のサポートソフトのインストール手順について説明します。

用意するもの

・添付の「サポートソフト」CD-ROM



「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のプログラムソフトをパソコンにインストールする必要があります。

インストールは本製品を利用するすべてのパソコンで行ってください。

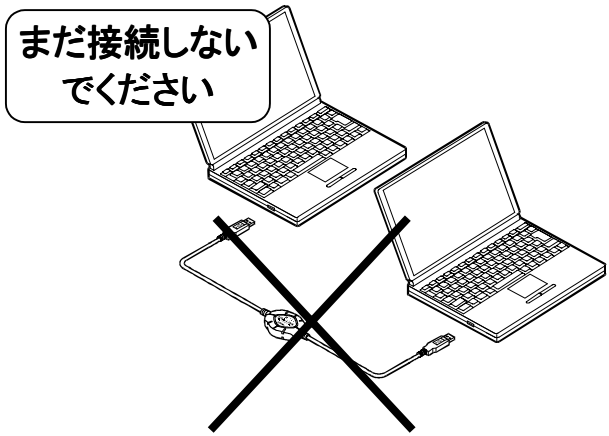
ここでは、そのインストール手順について説明します。

インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

注意！

パソコンとの接続（USB ポートへの挿入）は【ステップ2】にて行います。ここでは、まだ本製品を USB ポートに接続しないでください。



注意！

・以前に本製品を「ネットワークモード」でインストールしていた場合は、必ず、一度サポートソフトをアンインストール（削除）してから（【サポートソフトを削除する場合】149 ページ参照）、次ページ以降で「ピア・ツー・ピアモード」でインストールしてください。

・以前に本製品を使用していたパソコンに、新しいバージョンの「サポートソフト」をインストールする場合は、以前のバージョンの「サポートソフト」を削除してから、新しいバージョンの「サポートソフト」をインストールしてください。

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ Windowsを起動します。

注意！

Windows XP にてインストールおよび本製品を使用する場合は、コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
Windows 2000 にてインストールおよび本製品を使用する場合は、Administrator 権限を持ったユーザーでログオンしてご使用ください。

2 「サポートソフト」CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。



「サポートソフト」CD-ROM

3 [マイコンピュータ]をダブルクリックします。

Windows XPの場合は[スタート]→[マイコンピュータ]を順にクリックします。

・*Windows XPの場合*

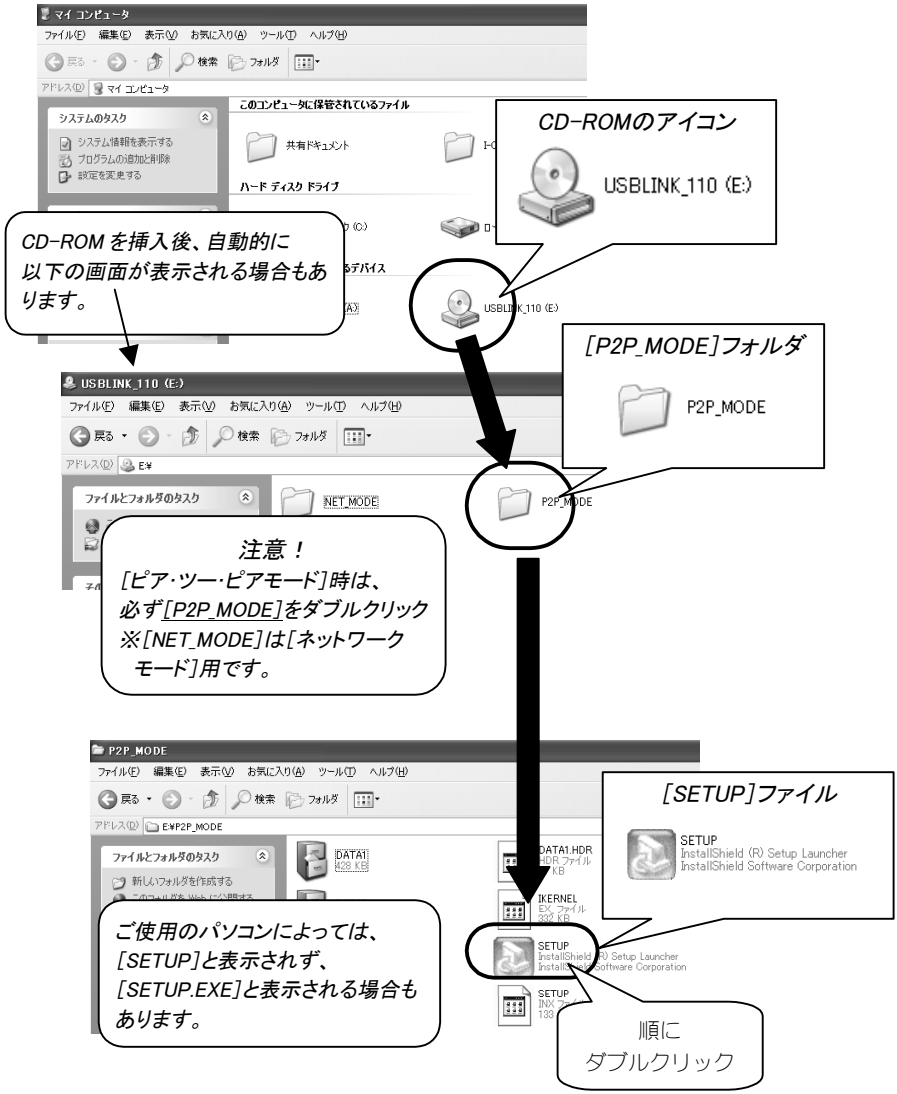


・*Windows 2000/Me/98の場合*



4 CD-ROMのアイコン（USBLINK_xxx）※→
[P2P_MODE]→[SETUP]を順にダブルクリックします。
※ xxx にはサポートソフトのバージョンが表示されます。

（Windows XPでの表示例）



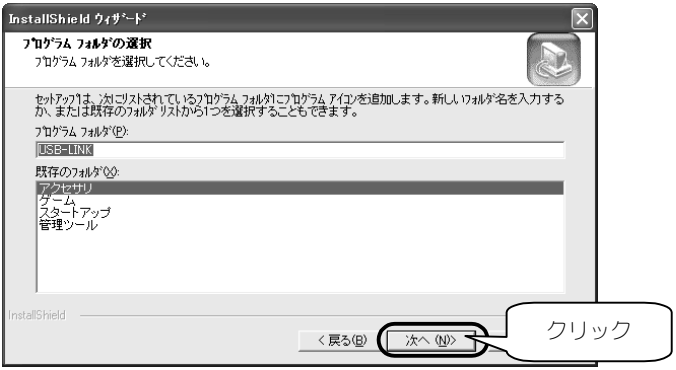
5 [次へ]ボタンをクリックします。



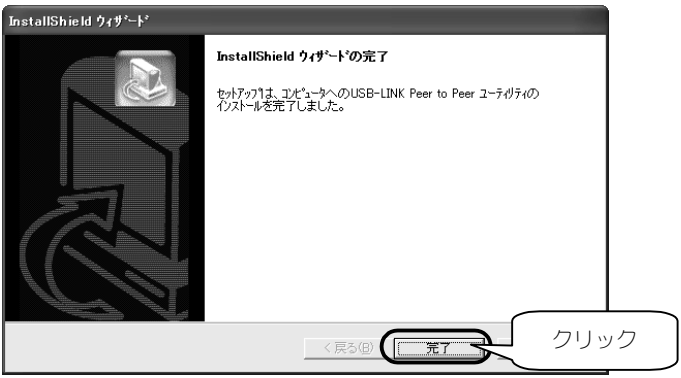
6 [次へ]ボタンをクリックします。



7 [次へ]ボタンをクリックします。



8 ［完了］ボタンをクリックします。



9 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

10 他のすべてのパソコンも同様に *1*～*9* の手順でインストールしてください。

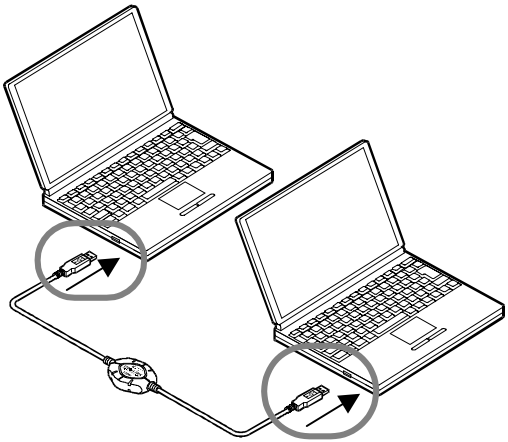
以上で、ピア･ツー･ピアモードでのインストールは終了です。
次ページへお進みください。

ステップ2 パソコンに接続する

サポートソフトのインストールが終了したら、次に本製品をパソコンに接続します。

パソコンに接続する

1 パソコンの電源が入っていることを確認後、
本製品を2台のパソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに接続します。軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。



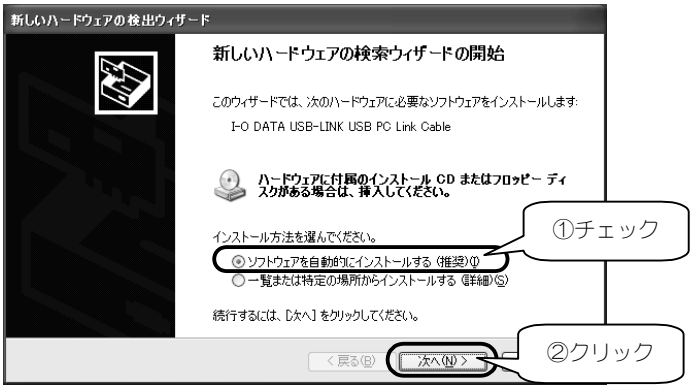
パソコンに接続後、ご使用のOSによってディスプレイ上に画面が表示される場合があります。
以下のお使いのOSの個所へお進みください。

・*Windows XPの場合*
→次ページ【Windows XPでの接続後の画面について】参照
・*Windows 2000/Me/98の場合*
→21ページ【Windows 2000/Me/98での接続後の画面について】参照

Windows XPでの接続後の画面について

1 接続後、以下の画面が表示されます。
[ソフトウェアを自動的…]がチェックされていることを確認後、
[次へ]ボタンをクリックし、次ページ*3*の手順へお進みください。

（Windows XPの表示例）

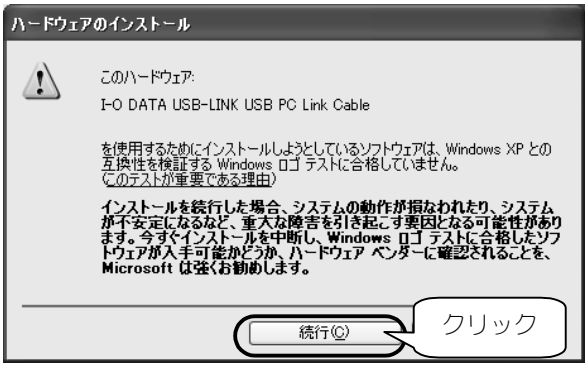




Windows XP で
上記画面が
表示されない場合は…

再度、本製品を接続し直してください。

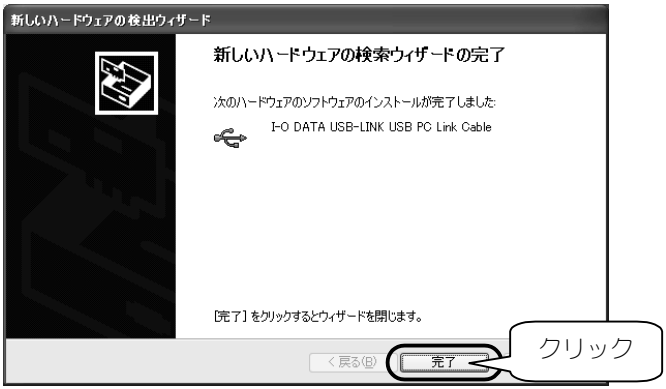
2 以下の画面が表示されます。
[続行]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

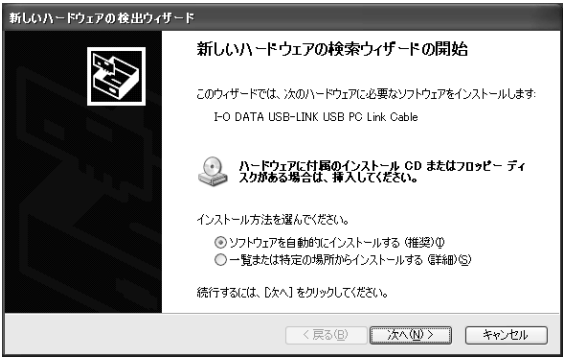
3 ［完了］ボタンをクリックします。



以上で接続は終了です。
次ページで正しく接続できているかをWindows上で確認してください。

参考

インストールしたパソコンの別の USB ポートに接続すると、再度以下の前ページ *1* の手順の画面が表示されます。
再度、同じ手順を行ってください。



Windows 2000/Me/98での接続後の画面について

1 接続後、パソコン(Windows)が本製品を認識し、以下のような画面が表示され、自動的にインストール作業が行われます。
画面が消えるまでしばらくおまちください。



2 しばらくして画面が消えます。



Windows 2000/Me/98 で
画面が表示されたまま
（以下の画面参照）
消えない場合は…

[キャンセル]ボタンを
クリック後、本製品を取り外し、
再度、【ステップ1】12 ページの
手順からやり直してください。

《【ステップ1】でのインストールが
正常に終了していない場合に表示される画面例》
※正常にインストールが終了していれば表示後、すぐ消えます。



Windows Me での
画面例

表示されたまま消えない場合は、[キャンセル]ボタンをクリック後、
再度、【ステップ1】12ページの手順からやり直してください。

以上で接続は終了です。
次ページで正しく接続できているかをWindows上で確認してください。

ステップ 3 接続が正常かを確認する

接続が正常ならば、Windows上で本製品が正しく認識されています。
ここでは、その確認方法について説明します。

・*Windows XPの場合*　→次ページ【Windows XPでの確認】参照
・*Windows 2000の場合*　→25ページ【Windows 2000での確認】参照
・*Windows Me/98の場合*
→27ページ【Windows Me/98での確認】参照

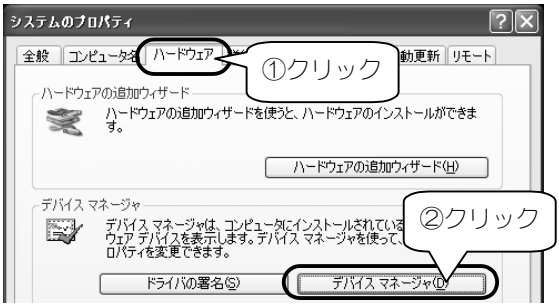
Windows XPでの確認

ここでは、Windows XPでの確認方法を説明します。

1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



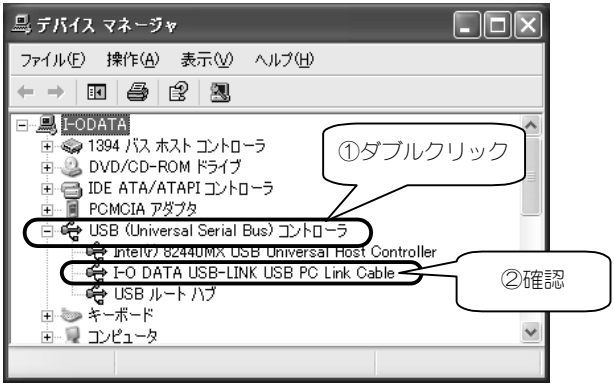
2 [ハードウェア]タブをクリック後、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に[I-O DATA USB-LINK USB PC Link Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



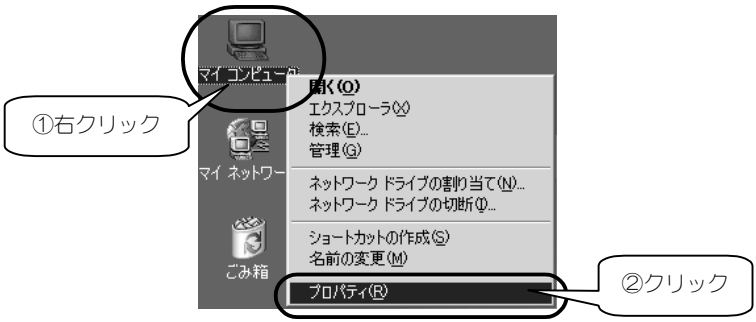


正常に表示されていれば、Windows XPで本製品が使用できます。
次に【ステップ4】(29ページ)へお進みください。

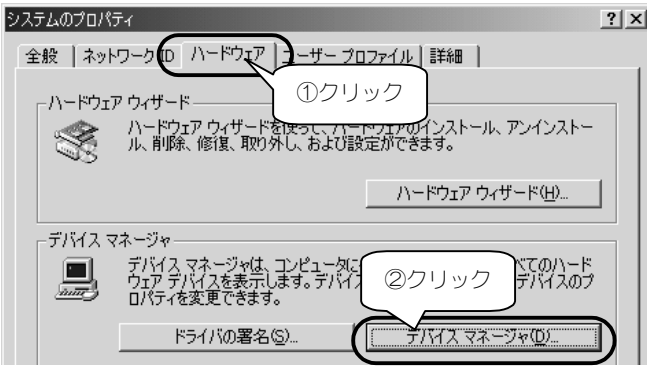
Windows 2000での確認

ここでは、Windows 2000での確認方法を説明します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。



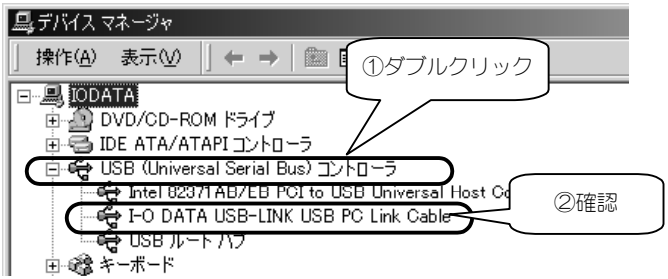
2 [ハードウェア]タブをクリックして、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

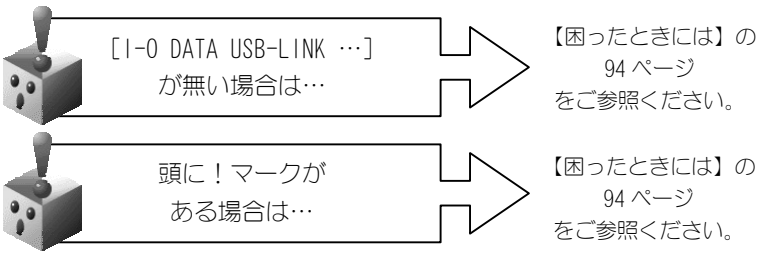


3 [USB（Universal Serial Bus）コントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[USB（Universal Serial Bus）コントローラ]の下に[I-O DATA USB-LINK USB PC Link Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



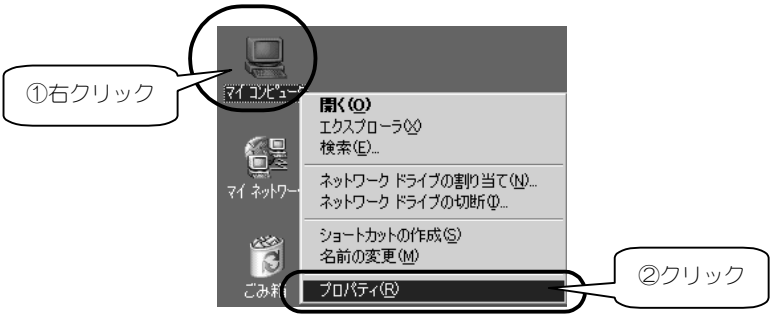


正常に表示されていれば、Windows 2000で本製品が使用できます。
次に【ステップ4】（29ページ）へお進みください。

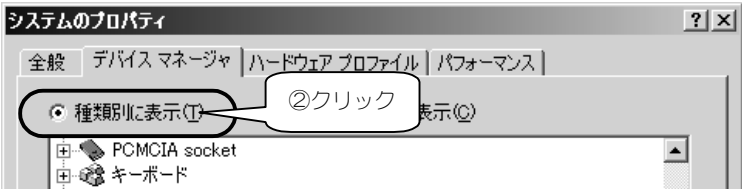
Windows Me/98での確認

ここでは、Windows Me/98での確認方法を説明します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。



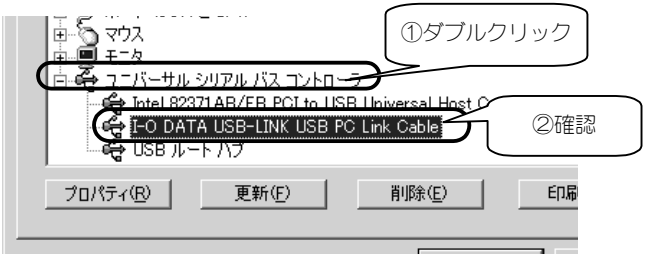
2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別の表示]をクリックします。



3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下に[I-O DATA USB-LINK USB PC Link Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





[I-O DATA USB-LINK …]が無い場合は…

【困ったときには】の94ページをご参照ください。



頭に！マークがある場合は…

【困ったときには】の94ページをご参照ください。



参考

PC98-NX シリーズで[デバイスマネージャ]が表示されない場合は、以下の手順で[アドバンスドモード]に設定してください。

1.[スタート]→[プログラム]→[Cyber Trio-NX]（あるいは[NX ユーティリティ]、[NXの設定]）→[Cyber-Trio-NX セットアップ]を順に起動します。

2.[アドバンスドモード]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

3.Windows を再起動します。

再起動後、再度、前ページの *1* の手順から行ってみてください。

正常に表示されていれば、Windows Me/98で本製品が使用できます。

次に次ページ【ステップ4】へお進みください。

ステップ 4 使ってみる

【ステップ3】での確認が正常ならば、後は、専用ユーティリティを使用して、パソコン間のファイル転送などを行うことができます。
ここでは、そのユーティリティの使用方法について説明します。

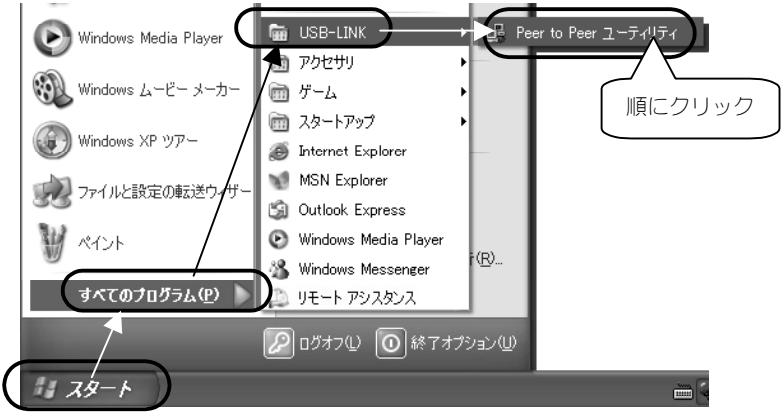
参考

以下で説明するユーティリティは、【ステップ2】(18 ページ)でサポートソフトをインストールすれば同時にインストールされます。

ユーティリティの起動と終了

ファイル転送などを行うには、2台のパソコンでともにユーティリティを起動する必要があります。（2台のパソコンのどちらが先でも構いません。）

1 片方のパソコンでユーティリティを起動します。
[スタート]→[プログラム](Windows XPは[すべてのプログラム])→[USB-LINK]→[Peer to Peerユーティリティ]をクリックします。



2　ユーティリティ画面が起動します。



ランプの色について

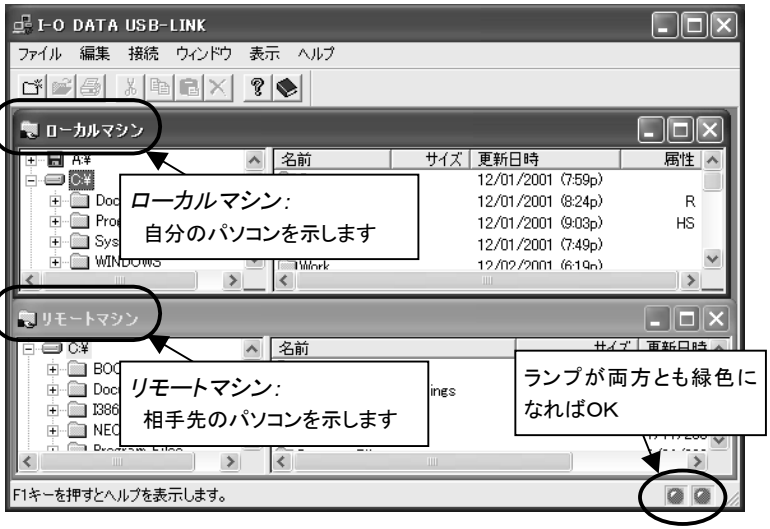
接続できていれば緑色になります。

※本製品を接続している相手側のパソコンでユーティリティが起動している必要があります。

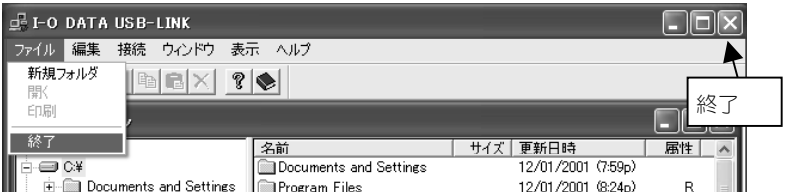
接続できないときは赤色になります。

3　同様に、もう一方のパソコンでユーティリティを起動します。

4 しばらくすると、2台のパソコンのユーティリティにそれぞれ相手先のファイル一覧が表示され、画面右下のランプが2つとも緑色になります。
どちらのパソコンのユーティリティを使っても操作を行えます。



5 一番右上の「×」ボタンを押すか、「ファイル」メニューの「終了」を選ぶと、終了します。
※起動している2つのユーティリティを両方とも終了してください。



参考

ユーティリティの詳しい機能などは【[Peer to Peer ユーティリティ]の機能一覧】(38 ページ)を参照してください。

ファイルを転送するには

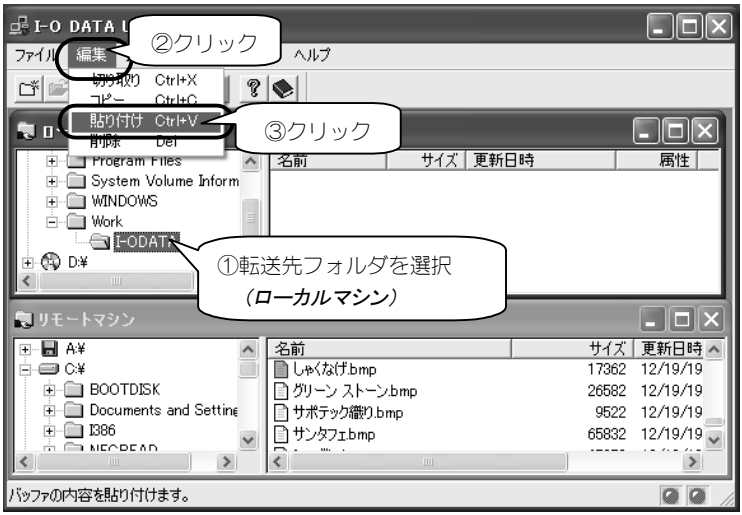
相手先のパソコン（リモートマシン）にあるファイルを自分のパソコン（ローカルマシン）に転送してみましょう。
このユーティリティではWindowsエクスプローラのファイルコピーと同じような感覚でファイル転送が行えます。

1 転送したいファイルを選び、[編集]メニューの[コピー]をクリックします。

※ファイル選択後、右クリックしても「コピー」が選択できます。
※ファイルを移動したいときは「切り取り」を選んでください。



2 転送先のフォルダを選び、
[編集]メニューの[貼り付け]をクリックします。



これでファイル転送は完了です。
同様の操作で、自分のパソコン（ローカルマシン）から相手先のパソコン（リモートマシン）への転送・コピーもできます。
また、ファイルの転送・コピー・移動はドラッグ＆ドロップで行うこともできます。

注意！

[デスクトップ]へのドラッグ＆ドロップはできません。

参考

同一ドライブを指定した場合は移動に、異なるドライブ（異なるマシンを含む）のときはコピーになります。

相手先パソコンのファイルを表示・印刷するには

相手先のパソコン（リモートマシン）にあるファイルの中身を確認したり、印刷したいときは、わざわざ自分のパソコン（ローカルマシン）にファイル転送しなくても表示・印刷ができます。ただし、以下の条件を満たす場合のみ使用できます。

1.ローカルマシンでアプリケーションの関連付けが行われていること
2.そのアプリケーションがローカルマシンにインストールされていること
3.印刷したいときはローカルマシンにプリンタが接続されていること



参考

アプリケーションの関連付けは、以下の手順で設定できます。

・Windows XP/2000 の場合

［マイコンピュータ］（Windows XP は［スタート］→［マイコンピュータ］）→［表示］→［フォルダオプション］の［ファイルの種類］タブまたは［ファイルタイプ］で行います。

詳しくは、Windows のヘルプまたは取扱説明書を参照してください。

・Windows Me/98 の場合

［マイコンピュータ］→［表示］→［フォルダオプション］の［ファイルタイプ］で行います。詳しくは、Windows のヘルプまたは取扱説明書を参照してください。

1 表示または印刷したいファイルを選び、
[ファイル]メニューの[開く]または[印刷]をクリックします。

※ファイルの複数選択はできません。



2 関連付けされたアプリケーションが起動し、ファイルを表示または印刷します。

注意！

リモートマシンのファイルを指定した場合、ファイル内容を変更しても、上書き保存することはできません。いったんローカルマシンのフォルダに保存してから、このユーティリティで転送してください。

別の相手先パソコンに切り替えるには

本製品を複数使用している場合に、別の相手先パソコン（リモートマシン）に切り替えるには、以下の手順の［ケーブル番号］によって行います。

注意！

［ピア・ツー・ピアモード］では、相手先は同時には１つしか表示できません。
（自分［ローカルマシン］を含め同時に最大２台まで）
相手先が複数ある場合は以下の手順で切り替える必要があります。

1 ［表示］メニューの［設定］をクリックします。



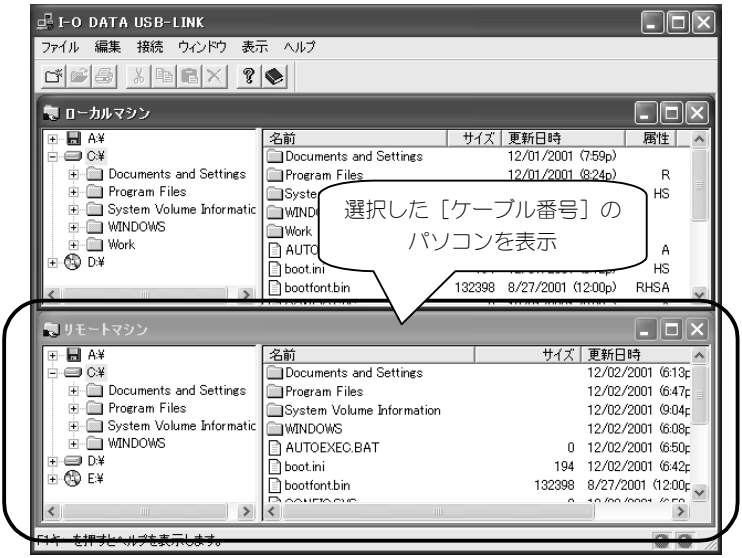
2 [ケーブル番号]欄から切り替えたい[ケーブル番号]を選択後、[OK]ボタンをクリックします。



参考

[ケーブル番号]は、本製品がパソコンに接続された順に「1」から自動的に割り振られます。
[ケーブル番号]とパソコンの対応がわからない場合は、一度すべての本製品を抜いてから1つずつ差しなおして確認してみてください。

3 選択した[ケーブル番号]のパソコン([リモートマシン])が表示されます。



ステップ5 ［Peer to Peerユーティリティ］の機能一覧

ここでは、［Peer to Peerユーティリティ］の機能一覧を説明します。

メニューから実行できる機能

特に指定のない限り、ローカルマシン・リモートマシンともに使用できます。



・［ファイル］メニュー

項目	詳細
新規フォルダ	選択したドライブまたはフォルダの下に、新しいフォルダを作成します。フォルダ名を入力してください。
開く	指定されたファイルに関連付けされたアプリケーションを起動して、ファイルの内容を表示します。開くことができるのは「フォルダオプション」の「ファイルタイプ」で登録されている拡張子のファイルに限ります。 実行形式（.EXEなど）のファイルは開けません。 リモートマシンのファイルを指定したときは、上書き保存することはできません。また、ファイルを選択していないとき、ファイルを複数選択しているときは使用できません。
印刷	指定されたファイルに関連付けされたアプリケーションを起動して、ファイルの内容を印刷します。印刷することができるのは「フォルダオプション」の「ファイルタイプ」で登録されている拡張子のファイルに限ります。 印刷できるのは、このコマンドを実行したパソコンにプリンタが接続されているときだけです（リモートマシンのプリンタは使用できません）。 ファイルを選択していないとき、ファイルを複数選択しているときは使用できません。
終了	ユーティリティを終了します。

・[編集]メニュー

項目	詳細
切り取り	選択したファイルやフォルダ(複数選択可)を移動したいときに使用します。このコマンドを実行後、[貼り付け]を行えば移動できます。リモートマシン－ローカルマシン間だけでなく、ローカルマシン内やリモートマシン内でも使用できます。
コピー	選択したファイルやフォルダ(複数選択可)をコピーしたいときに使用します。このコマンドを実行後、[貼り付け]を行えばコピーできます。リモートマシン－ローカルマシン間だけでなく、ローカルマシン内やリモートマシン内でも使用できます。
貼り付け	ファイルやフォルダの移動やコピー時に使用します。リモートマシン－ローカルマシン間だけでなく、ローカルマシン内やリモートマシン内でも使用できます。
削除	選択したファイルやフォルダ(複数選択可)を削除したいときに使用します。*Windowsのごみ箱には保存されず、完全に削除されますので注意してください。*

・[接続]メニュー

項目	詳細
ローカル	ローカルマシンのファイル一覧を表示します。すでに表示されているときは使用できません。
リモート	リモートマシンのファイル一覧を表示します。すでに表示されているときやリモートマシンでユーティリティが起動されていないときは使用できません。

・[ウィンドウ]メニュー

項目	詳細
重ねて表示	ローカルマシンおよびリモートマシンのファイル一覧を重ねて表示します。後ろになったウィンドウのタイトルバーをクリックすれば前面に表示されます。
上下に並べて表示	ローカルマシンおよびリモートマシンのファイル一覧を上下に並べて表示します。
閉じる	現在アクティブになっている(タイトルバーが淡色表示になっていない)ウィンドウを閉じます。閉じたウィンドウを開くには[接続]コマンドを使います。
ウィンドウリスト	現在開いているウィンドウ名を表示します。レ印がついているウィンドウがアクティブになっているウィンドウです。選択したウィンドウがアクティブになります。

・[表示]メニュー

項目	詳細
最新の情報に更新	アクティブになっているウィンドウのファイル一覧を再表示し、最新の状態にします。表示フォルダを変更しない場合、このコマンドを実行しないと最新情報が表示されません。
ツールバー	ツールバー(画面上部のアイコンが表示されている個所)の表示／非表示を切り替えます。レ印がついているときが表示中です。
設定	次ページを参照してください。

・[ヘルプ]メニュー

項目	詳細
トピック検索	このユーティリティのヘルプ情報を表示します。
バージョン情報	このユーティリティのバージョンを表示します。

[詳細設定]画面

[表示]メニューの[設定]を実行すると、詳細設定を行うことができます。



項目	詳細
スタンバイモードを有効にする	チェックマークを外せば、このユーティリティを起動している間は、パソコンが[スタンバイモード]に移行しません。
表示する属性	4つのファイル属性のうち、チェックしたものだけを表示します。 ウィンドウを見やすくしたり、ファイル選択を限定することにより、ファイルを保護することができます。
ケーブル番号	ローカルマシンに複数の本製品が接続されていた場合、リモートマシンの接続先を指定します。 [ケーブル番号]は、本製品がパソコンに接続された順に「1」から自動的に割り振られます。 [ケーブル番号]とパソコンの対応がわからない場合は、一度すべての本製品を抜いてから1つずつ差しなおして確認してみてください。

ツールバーから実行できる機能

ツールバーは画面上部にあり、よく使う機能をアイコンでまとめてあります。これらの機能はすべてメニューから起動できる機能です。機能の詳細は【メニューから実行できる機能】38ページ～を参照してください。



アイコン	詳細
	[ファイル]メニューの[新規フォルダ]コマンドと同じです。 選択されているフォルダの下に新しいフォルダを作ります。
	[ファイル]メニューの[開く]コマンドと同じです。 選択したファイルを表示します。
	[ファイル]メニューの[印刷]コマンドと同じです。 選択したファイルを印刷します。
	[編集]メニューの[切り取り]コマンドと同じです。 選択したファイルの移動準備を行います。
	[編集]メニューの[コピー]コマンドと同じです。 選択したファイルのコピー準備を行います。
	[編集]メニューの[貼り付け]コマンドと同じです。 選択したファイルの移動またはコピーを行います。
	[編集]メニューの[削除]コマンドと同じです。 選択したファイルの削除を行います(ごみ箱には保存しない)。
	[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]コマンドと同じです。 このユーティリティのバージョンを表示します。
	[ヘルプ]メニューの[トピック検索]コマンドと同じです。 このユーティリティのヘルプ情報を表示します。

その他

・ドラッグ＆ドロップ

ファイルの移動やコピーはドラッグ＆ドロップでもできます。
この場合、同一ドライブでは移動になり、異なるマシンやドライブの場合はコピーになります。

・右クリック

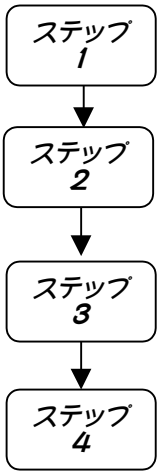
ファイルの移動やコピー時には右クリックメニューを使うこともできます。ファイルやフォルダを選択後、右クリックしてください。切り取り、コピー、貼り付け、削除のコマンドが使用できます。各コマンドの機能は［編集］メニューで使用するときと同じです。

MEMO

第4章

ネットワークモードで使う

この章では、本製品を「ネットワークモード」で使用する場合の手順について説明します。



サポートソフトをインストールする･･･46
「ネットワークモード」でのサポートソフトのインストール手順について説明します。

パソコンに接続する ･･･････････････55
パソコンへの接続手順について説明します。

接続が正常か確認する･･･････････････57
正しくパソコンに接続できているかをパソコン上で確認する手順について説明します。

ネットワークを設定する ･･･････････67
本製品を利用する上で必要なパソコンのネットワークについて説明します。

ステップ 1 サポートソフトをインストールする

ここでは、[**ネットワークモード**]を使用する場合のサポートソフトのインストール手順について説明します。

用意するもの

・添付の「サポートソフト」CD-ROM



・Windows 98をお使いの場合のみ
「Windows 98」CD-ROM（または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」）



Windows 98 プリインストールパソコンを
お使いの場合、CD-ROM は必要ありません。

「サポートソフト」をインストールする

本製品を使用するには、「サポートソフト」CD-ROM 内のプログラムソフトをパソコンにインストールする必要があります。

<u>インストールは本製品を利用するすべてのパソコンで行ってください。</u>

ここでは、そのインストール手順について説明します。

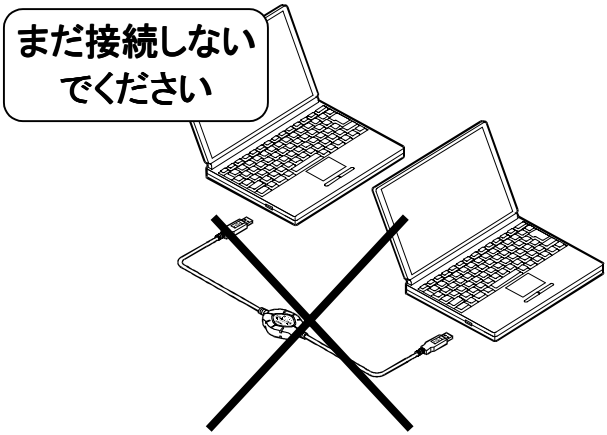
インストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。

次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。



注意！

パソコンとの接続（USB ポートへの挿入）は【ステップ2】にて行います。ここでは、まだ本製品を USB ポートに接続しないでください。





注意！

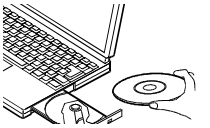
- **以前に本製品を「ピア・ツー・ピアモード」でインストールしていた場合は、必ず、一度サポートソフトをアンインストール（削除）してから（【サポートソフトを削除する場合】149 ページ参照）、次ページ以降で「ネットワークモード」でインストールしてください。**
- **以前に本製品を使用していたパソコンに、新しいバージョンの「サポートソフト」をインストールする場合は、以前のバージョンの「サポートソフト」を削除してから、新しいバージョンの「サポートソフト」をインストールしてください。**

1 本製品を差し込まずに、パソコンの電源を入れ
Windowsを起動します。

注意！

Windows XP にてインストールおよび本製品を使用する場合は、コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
Windows 2000 にてインストールおよび本製品を使用する場合は、Administrator 権限を持ったユーザーでログインしてご使用ください。

2 「サポートソフト」CD-ROM を
CD-ROMドライブにセットします。


「サポートソフト」CD-ROM

3 [マイコンピュータ]をダブルクリックします。
Windows XPの場合は[スタート]→[マイコンピュータ]を順にクリックします。

・*Windows XPの場合*

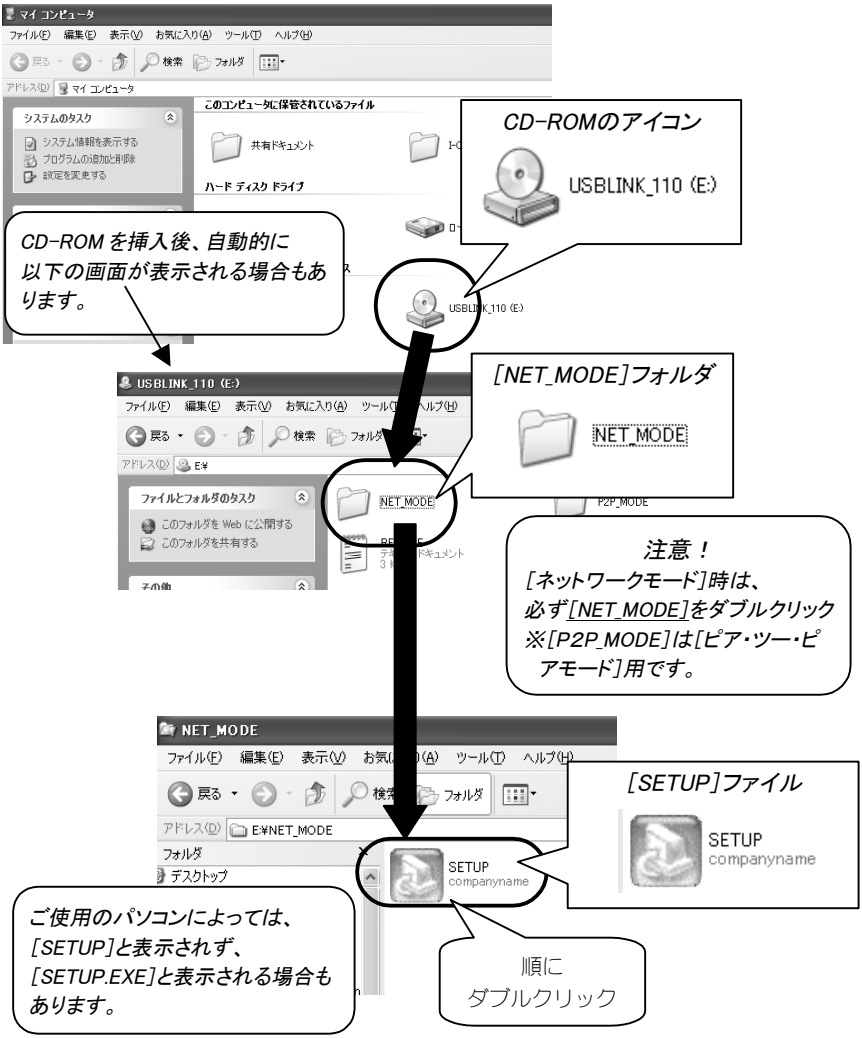


・*Windows 2000/Me/98の場合*



4 CD-ROMのアイコン（USBLINK_xxx）※→
［NET_MODE］→［SETUP］を順にダブルクリックします。
※ xxx にはサポートソフトのバージョンが表示されます。

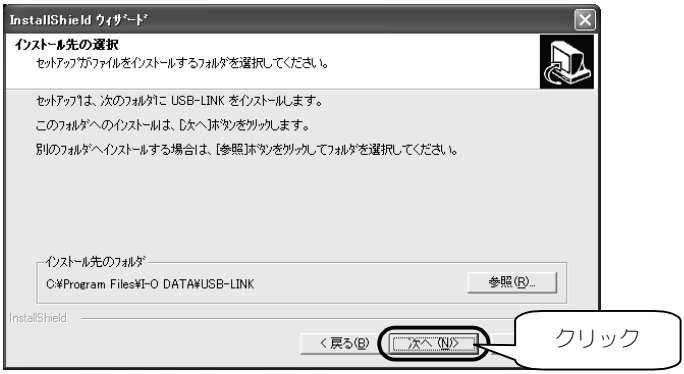
（Windows XPでの表示例）



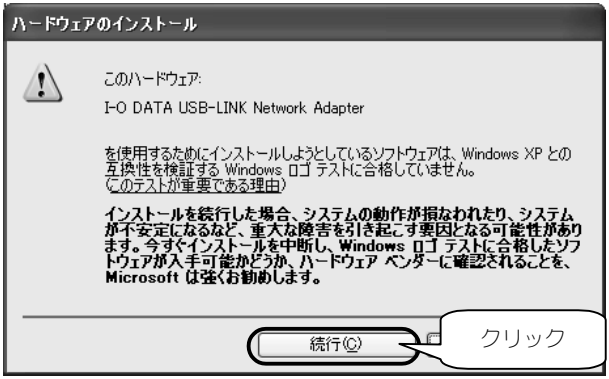
5 [次へ]ボタンをクリックします。



6 [次へ]ボタンをクリックします。



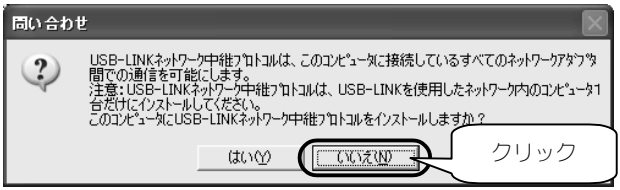
7 Windows XPやWindows 2000では、以下のような画面が表示されます。[続行]ボタン(Windows 2000では[はい]ボタン)をクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。
このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

8 [いいえ]ボタンをクリックします。



参考

[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]について

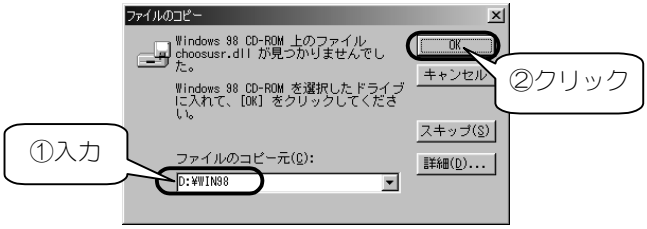
[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]は、パソコンに接続している LAN アダプタとの通信を中継するプロトコルです。
中継することにより、LAN のネットワークと本製品の USB 接続されたパソコン間をネットワーク接続することができます。
インストールするパソコンには注意が必要ですので、インストールは後で行います。
ここでは、[いいえ]をクリックしてください。

注意！

Windows 98 をお使いの場合で、「Windows 98 CD-ROM」を要求された場合は
→①「Windows 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
②[OK]ボタンをクリックします。



さらに、以下の画面が表示された場合は
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
[D:¥WIN98]（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）
※Windows 98 プリインストールモデルをお使いの方は、以下の「注意」もご覧ください。
②[OK]ボタンをクリックします。



注意！

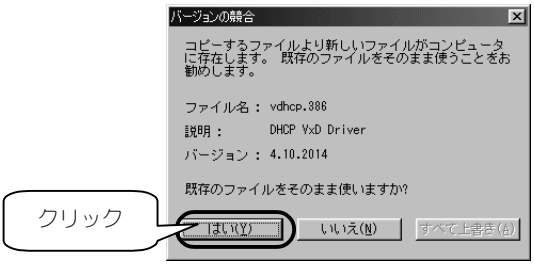
[ファイルのコピー]画面で、お使いのパソコンが Windows 98 プリインストールモデルの場合は
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]
（Windows 98 がインストールされているドライブが C ドライブの場合の例）
②[OK]ボタンをクリックします。



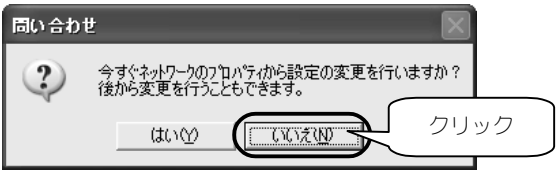
Windows 95 プリインストールモデルを Windows 98（Second Edition を含む）へアップグレードした場合、および Windows 98 プリインストールモデルを Windows 98 Second Edition へアップグレードした場合は
→①[ファイルのコピー元]欄で、[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]は指定せず、CD-ROM ドライブを指定してください。（上記【注意】参照）
②[OK]ボタンをクリックします。

注意！

[バージョンの競合]画面が表示された場合は
→[はい]ボタンをクリックします。
※複数の[バージョンの競合]画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンを
クリックしてください。



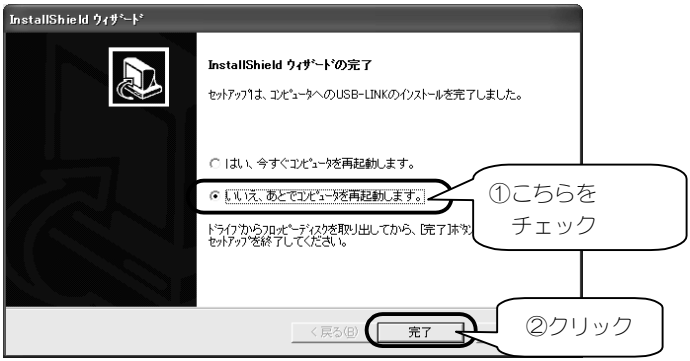
9 [いいえ]ボタンをクリックします。



参考

[ネットワークのプロパティ]はこの後の【ステップ4】(61 ページ)で行います。
ここでは、[いいえ]をクリックしてください。

10 [いいえ、あとでコンピュータを再起動します。]をチェック後、
[完了]ボタンをクリックします。



11 一度Windowsを終了し、
パソコンの電源を切ってください。

12 他のすべてのパソコンも同様にインストールしてください。

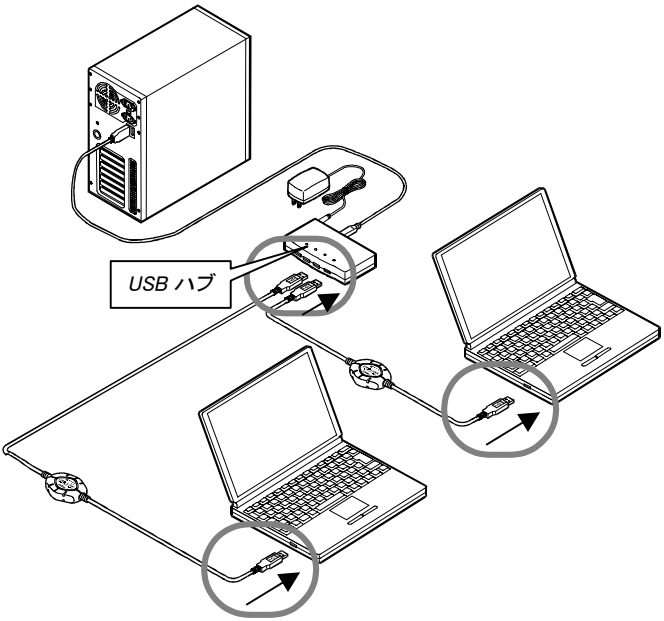
以上で、ネットワークモードでのインストールは終了です。
次ページへお進みください。

ステップ 2 パソコンに接続する

サポートソフトのインストールが終了したら、次に本製品をパソコンに接続します。

1 パソコンの電源が切れていることを確認後、
本製品をパソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに接続します。
軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

《USBハブを利用したパソコンの接続例》



2 接続後、すべてのパソコンの電源を入れます。

3 パソコン起動後、パソコンが本製品を認識し、自動的にインストール作業を行います。
画面が表示され、しばらくして画面が消えたら、接続完了です。



Windows 2000/Me/98 で
画面が表示されたまま
（以下の画面参照）
消えない場合は…

[キャンセル]ボタンを
クリック後、本製品を取り外し、
再度、【ステップ1】46 ページの
手順からやり直してください。

《【ステップ1】でのインストールが正常に終了していない場合に表示される画面例》
※正常にインストールが終了していれば表示後、すぐ消えます。



Windows ME での
画面例

以上で接続は終了です。
次ページで正しく接続できているかをWindows上で確認してください。

ステップ 3

接続が正常かを確認する

接続が正常ならば、Windows上で本製品が正しく認識されています。
ここでは、その確認方法について説明します。

・*Windows XPの場合*
→次ページ【Windows XPでの確認】参照
・*Windows 2000の場合*
→61ページ【Windows 2000での確認】参照
・*Windows Me/98の場合*
→64ページ【Windows Me/98での確認】参照

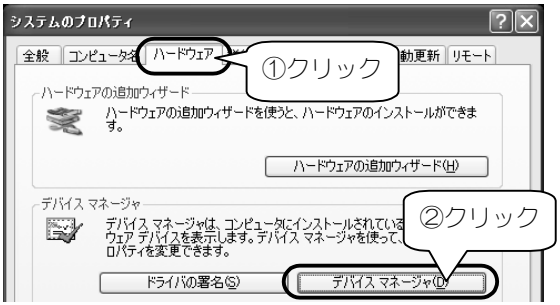
Windows XPでの確認

ここでは、Windows XPでの確認方法を説明します。

1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



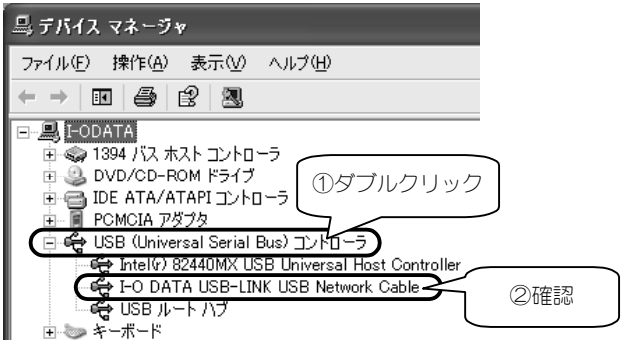
2 [ハードウェア]タブをクリック後、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

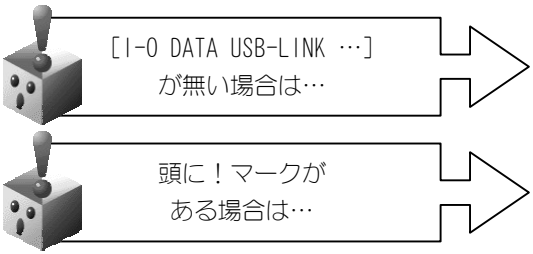


3 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に[I-O DATA USB-LINK USB Network Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





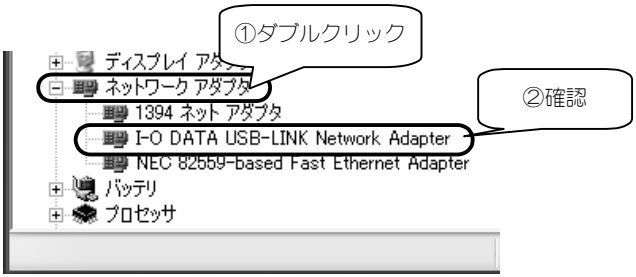
【困ったときには】の
96 ページ
をご参照ください。

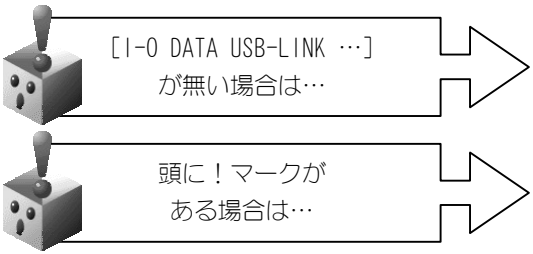
【困ったときには】の
96 ページ
をご参照ください。

4 [デバイスマネージャ]画面の[ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[ネットワークアダプタ]の下に
[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。





正常に表示されていれば、Windows XPで本製品が使用できます。
次に【ステップ4】(67ページ)へお進みください。

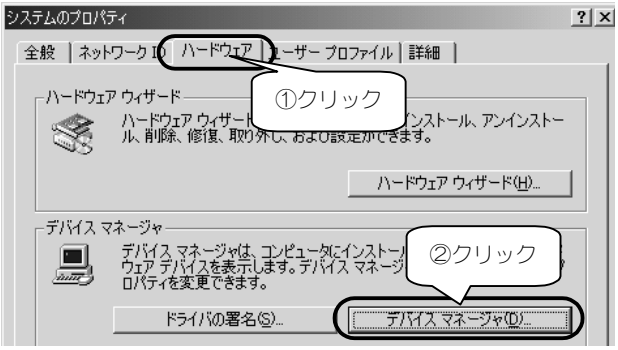
Windows 2000での確認

ここでは、Windows 2000での確認方法を説明します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。



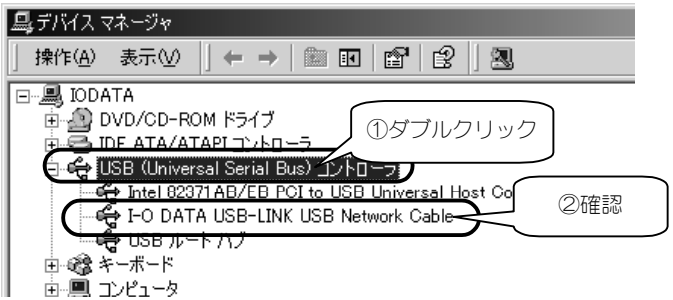
2 [ハードウェア]タブをクリックして、
[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

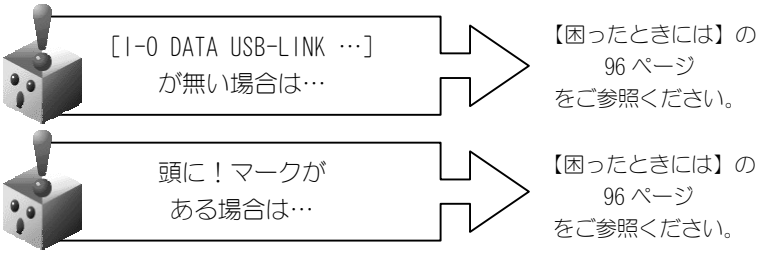


3 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の下に[I-O DATA USB-LINK USB Network Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

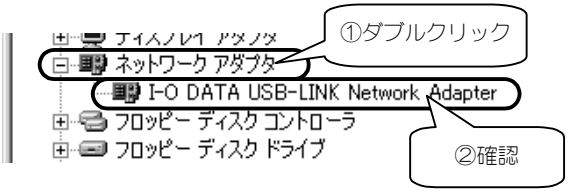


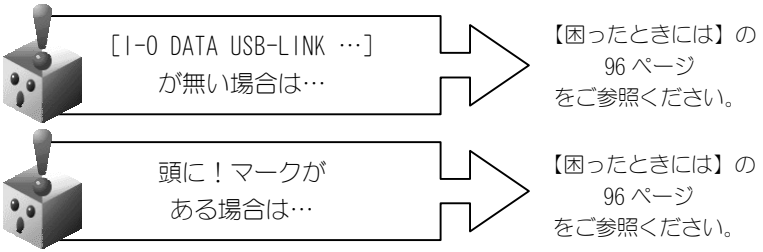


4 [デバイスマネージャ]画面の[ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[ネットワークアダプタ]の下に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



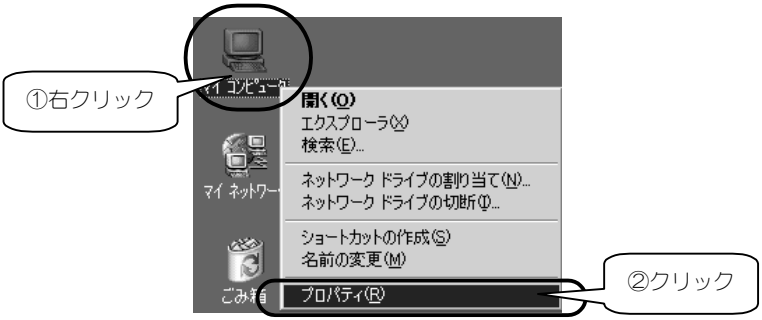


正常に表示されていれば、Windows 2000で本製品が使用できます。
次に【ステップ4】(67ページ)へお進みください。

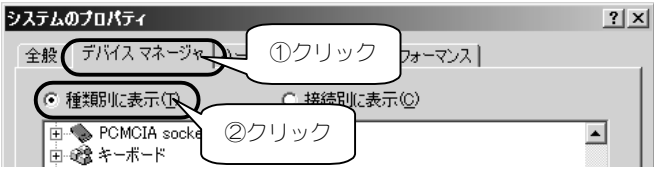
Windows Me/98での確認

ここでは、Windows Me/98での確認方法を説明します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、
[種類別の表示]をクリックします。



参考

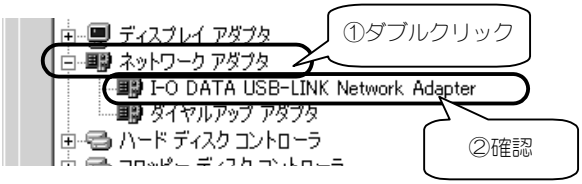
PC98-NX シリーズで[デバイスマネージャ]が表示されない場合は、以下の手順で[アドバンスドモード]に設定してください。

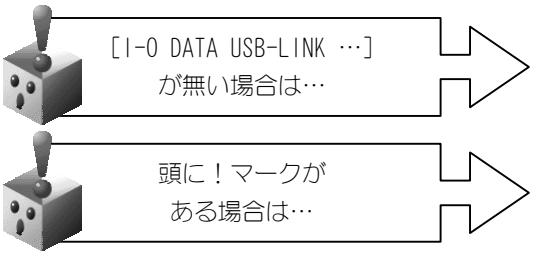
1.[スタート]→[プログラム]→[Cyber Trio-NX](あるいは[NX ユーティリティ]、[NX の設定])→[Cyber-Trio-NX セットアップ]を順に起動します。
2.[アドバンスドモード]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。
3.Windows を再起動します。
再起動後、再度、上記 *1* の手順から行ってみてください。

3 [ネットワークアダプタ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[ネットワークアダプタ]の下に
[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

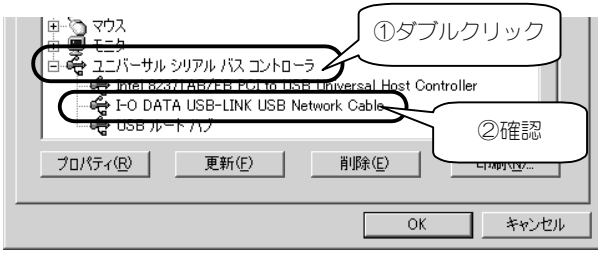




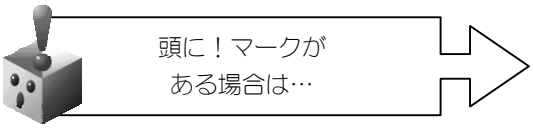
4 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックし、以下を確認します。

・[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下に
[I-O DATA USB-LINK USB Network Cable]と表示されているかを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。







【困ったときには】の
96 ページ
をご参照ください。

正常に表示されていれば、Windows Me/98で本製品が使用できます。
次に【ステップ4】(67ページ)へお進みください。

ステップ 4 ネットワークを設定する

【ステップ3】での確認が正常ならば、次にパソコンにネットワーク設定を行います。

本製品を［ネットワークモード］で使用する場合、以下の設定が必要です。

設定①:プロトコルの設定(以下の【注意】参照)
TCP/IP
NetBEUI
IPX/SPX
設定②:［フルコンピュータ名］(または［コンピュータ名］)
［ワークグループ］の設定
設定③:共有の設定



注意！

・ご使用の OS によって上記プロトコルの名称は異なります。以下および次ページの【参考】の表でご確認ください。
・データをやりとりするパソコン同士は、同じプロトコルがインストールされている必要があります。(同じプロトコルがインストールされていれば、同時に別のプロトコルがインストールされていても問題ありません。)
・Windows XP では、NetBEUI プロトコルはサポートされておりません。Windows XP でもお使いになる場合は、他のプロトコルでご使用ください。



参考

必要なプロトコルは、xx ページ以降の［ネットワーク］画面で確認しますが、お使いの OS によって表示が異なります。

・TCP/IP の表示

お使いのOS	［ネットワーク］画面での表示
Windows XPの場合	インターネットプロトコル(TCP/IP)
Windows 2000の場合	
Windows Meの場合	TCP/IP
Windows 98の場合	

・NetBEUI の表示

お使いのOS	[ネットワーク]画面での表示
Windows XPの場合	なし　　※OSでサポートされていません。
Windows 2000の場合	NetBEUIプロトコル
Windows Meの場合	NetBEUI
Windows 98の場合	

・IPX/SPX の表示

お使いのOS	[ネットワーク]画面での表示
Windows XPの場合	NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル
Windows 2000の場合	
Windows Meの場合	IPX/SPX互換プロトコル
Windows 98の場合	

お使いのOSによって確認や設定手順が異なります。
この後は、以下のお使いのOSの個所へお進みください。

・*Windows XPの場合　→　次ページへ*
・*Windows 2000の場合　→　76ページへ*
・*Windows Me/98の場合　→　82ページへ*

Windows XPで ネットワークを設定する

ここでは、Windows XPで必要なネットワーク設定について説明します。

プロトコルを設定する

最初にプロトコルを設定します。

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が以下のような“カテゴリ表示画面”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

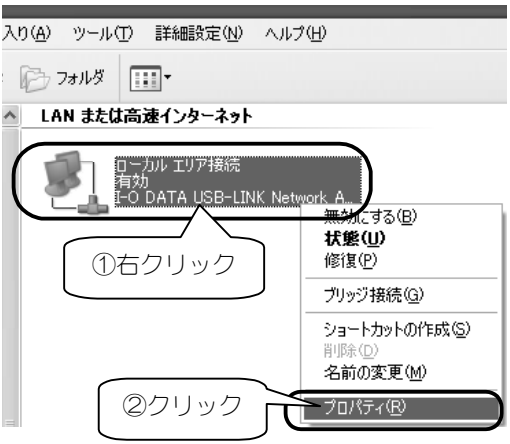


3 [ネットワーク接続]アイコンを
ダブルクリックします。



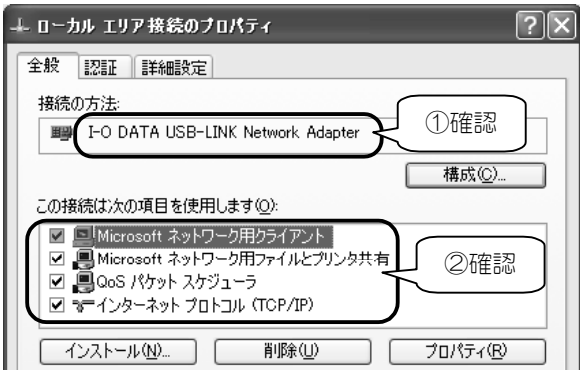


4 表示されている[I-O DATA USB-LINK Network …]アイコンを
右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



5 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、以下の表を参考に、お使いになるプロトコルその他が表示されているかを確認します。
以下の表でご確認ください。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[TCP/IP]を
お使いになる場合の画面例



・TCP/IP をお使いになる場合に必要な項目

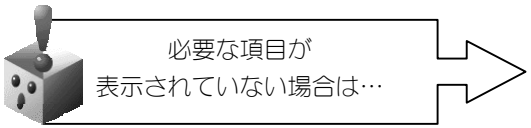
項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
共有サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	インターネットプロトコル(TCP/IP)

・IPX/SPX をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
共有サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル

注意！

Windows XP では、NetBEUI プロトコルはサポートされておりません。



108 ページを
ご参照ください。

次に[フルコンピュータ名]と[ワークグループ名]を確認します。
次ページへお進みください。

[フルコンピュータ名][ワークグループ名]を設定する

[フルコンピュータ名] [ワークグループ] を設定します。

1 [スタート]をクリック後、
[マイコンピュータ]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。

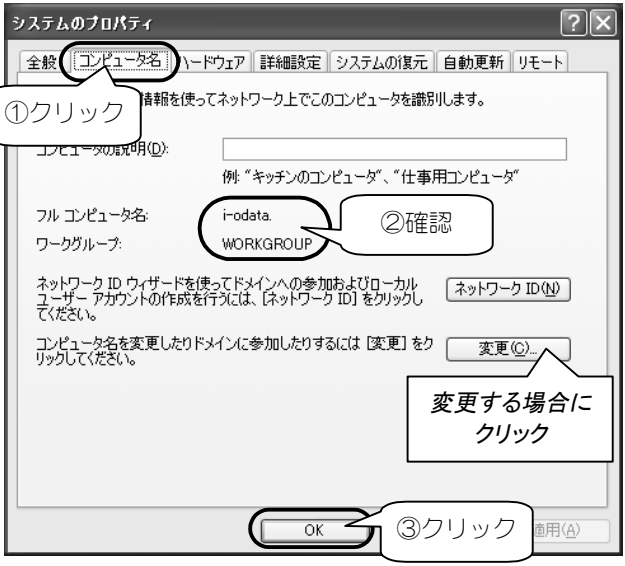


2 次ページの画面が表示されますので、
[コンピュータ名]タブをクリック後、[フルコンピュータ名]と[ワークグループ]が以下となっていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[変更]ボタンをクリックして、変更してください。



次に共有の設定を行います。
次ページへお進みください。

ファイルやプリンタの共有を設定する

ファイルやプリンタなどの共有を設定します。

参考

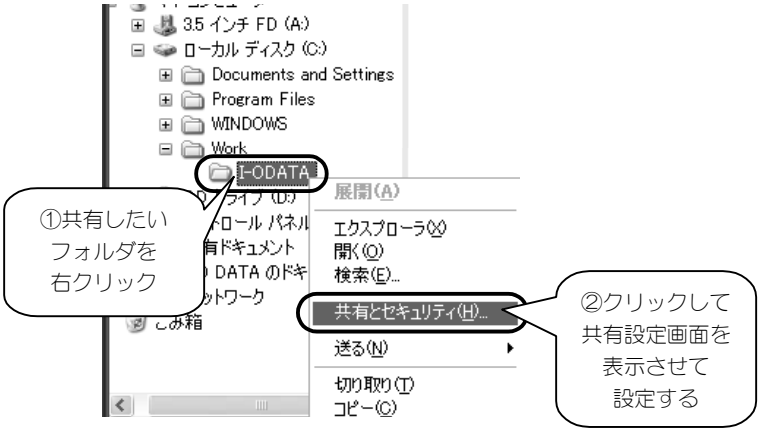
共有を設定すれば…・

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。

手順についての詳細は Windows のヘルプを参照してください。

1 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはファイルを本製品を接続した別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。
（詳細はWindows XPのヘルプを参照してください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



以上で、ネットワークの設定は終了です。

参考

既存の LAN のネットワークと本製品を利用したネットワークを接続することもできます。
詳細は、【付録4】（132 ページ）を参照してください。

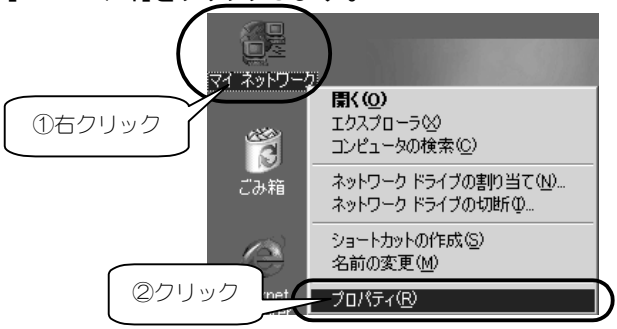
Windows 2000で ネットワークを設定する

ここでは、Windows 2000で必要なネットワーク設定について説明します。

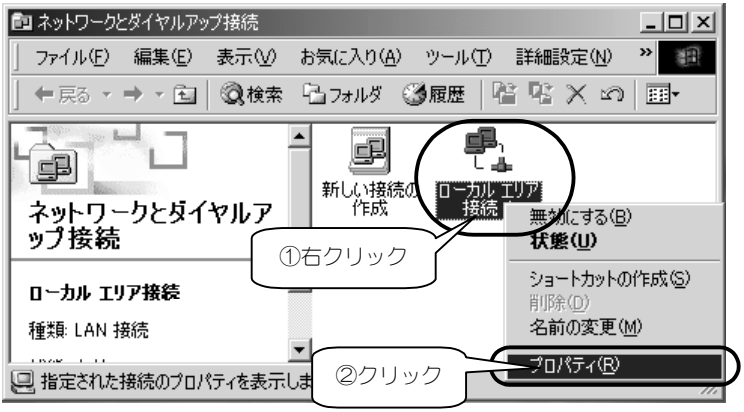
プロトコルを設定する

最初にプロトコルを設定します。

1 [マイ ネットワーク]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。

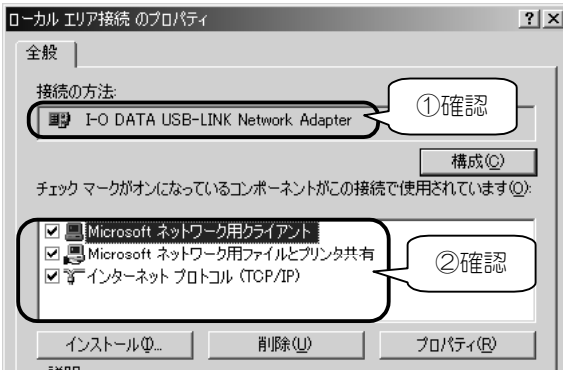


2 [ローカルエリア接続]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



3 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、以下の表を参考に、お使いになるプロトコルその他が表示されているかを確認します。
以下の表でご確認ください。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[TCP/IP]を
お使いになる場合の画面例



・TCP/IP をお使いになる場合に必要な項目

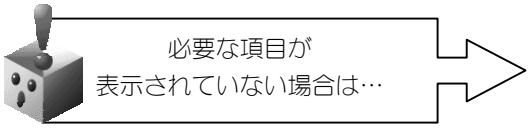
項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
共有サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	インターネットプロトコル(TCP/IP)

・NetBEUI をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
共有サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	NetBEUIプロトコル

・IPX/SPX をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
共有サービス	Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
プロトコル	NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル



117 ページを
ご参照ください。

次に[コンピュータ名]と[ワークグループ]を確認します。
次ページへお進みください。

[フルコンピュータ名][ワークグループ]を設定する

［フルコンピュータ名］［ワークグループ］を設定します。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、
[プロパティ]をクリックします。

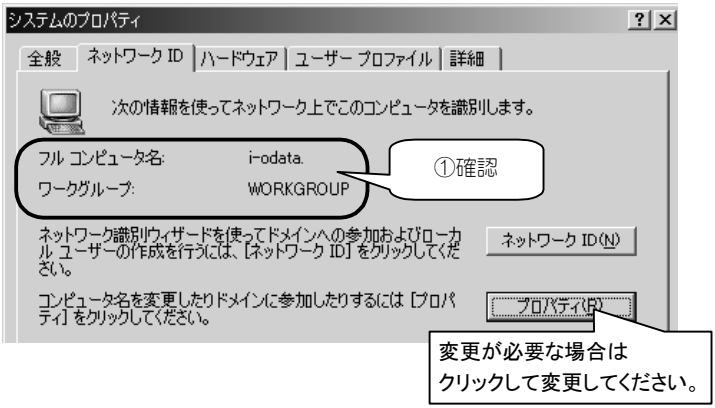


2 次ページの画面が表示されますので、
[フルコンピュータ名]と[ワークグループ]が
以下となっていることを確認してください。

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、変更してください。



次に共有の設定を行います。
次ページへお進みください。

ファイルやプリンタの共有を設定する

ファイルやプリンタなどの共有を設定します。

参考

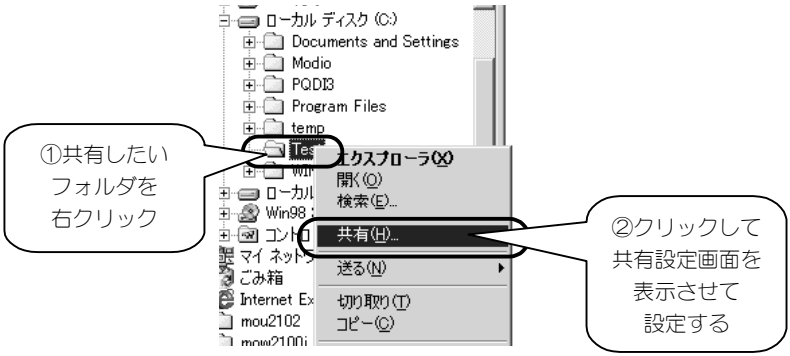
共有を設定すれば…・

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。

手順についての詳細は Windows のヘルプを参照してください。

1 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはファイルを本製品を接続した別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。
（詳細はWindows 2000のヘルプを参照してください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



以上で、ネットワークの設定は終了です。

参考

既存の LAN のネットワークと本製品を利用したネットワークを接続することもできます。詳細は、【付録4】（132 ページ）を参照してください。

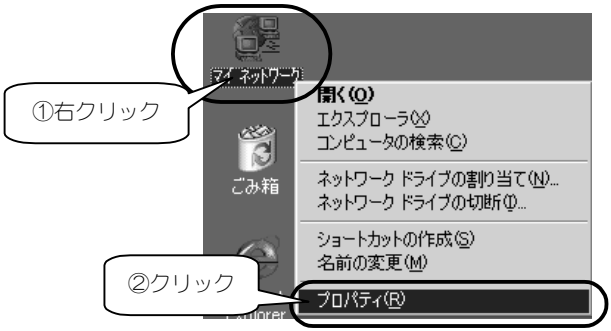
Windows Me/98で ネットワークを設定する

ここでは、Windows Me/98で必要なネットワーク設定について説明します。

プロトコルを設定する

最初にプロトコルを設定します。

1 [マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



2 [ネットワークコンポーネント]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、以下および次ページの表を参考に、お使いになるプロトコルその他が表示されているかを確認します。
確認後、[OK]ボタンをクリックします。

[TCP/IP]を
お使いになる場合の画面例



・TCP/IP をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーククライアント
プロトコル	TCP/IP ※[TCP/IP]と表示されずに、[TCP/IP->I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されている場合もあります。
共有サービス	Microsoftネットワーク共有サービス

・NetBEUI をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーククライアント
プロトコル	NetBEUI
共有サービス	Microsoftネットワーク共有サービス

・IPX/SPX をお使いになる場合に必要な項目

項目	表示
クライアント	Microsoftネットワーク用クライアント
プロトコル	IPX/SPX互換プロトコル
共有サービス	Microsoftネットワーク共有サービス



必要な項目が
表示されていない場合は…

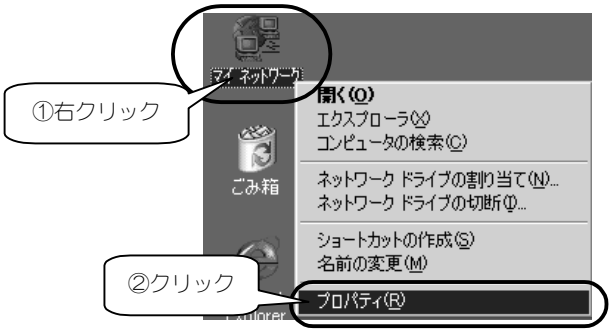
102 ページを
ご参照ください。

次に[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を確認します。
次ページへお進みください。

[コンピュータ名][ワークグループ名]を設定する

［コンピュータ名］［ワークグループ］を設定します。

1 [マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

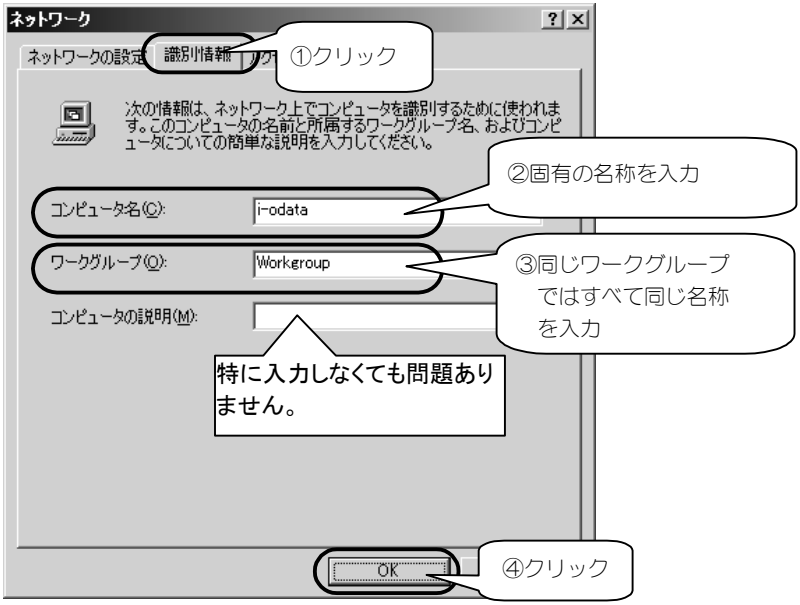


2 次ページの画面が表示されますので、
[識別情報]をクリックあと、
[フルコンピュータ名]と[ワークグループ]が
以下となっていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。

コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、変更してください。



次に共有の設定を行います。
次ページへお進みください。

ファイルやプリンタの共有を設定する

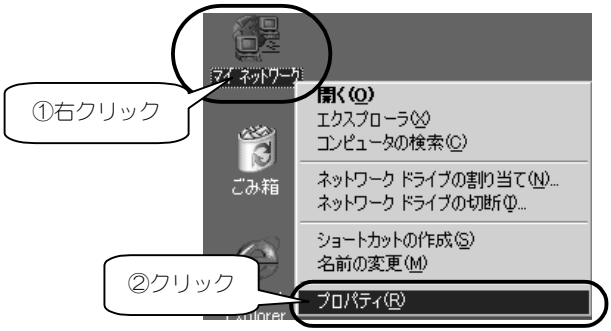
ファイルやプリンタなどの共有を設定します。

参考

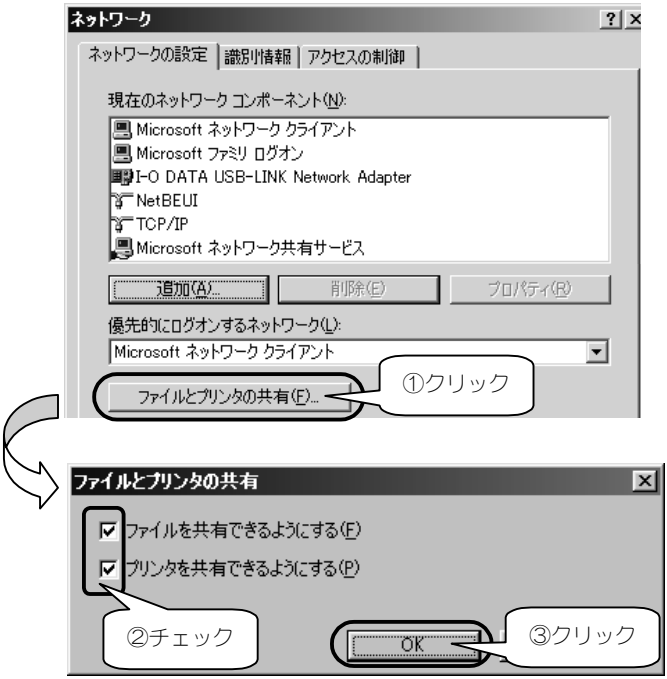
共有を設定すれば…・

自分のパソコンのドライブやフォルダ等を共有設定すれば、他のワークグループ上のパソコンからアクセスできるようになるため、マウス操作（マウスのドラッグアンドドロップ）で簡単にデータのやりとりができるようになります。
手順についての詳細は Windows のヘルプを参照してください。

1 [マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

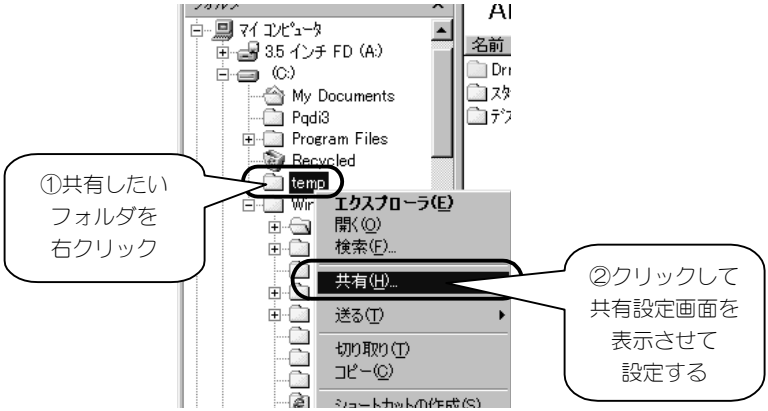


1 このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。
[ファイルとプリンタの共有]ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、[OK]ボタンをクリックします。



2 このパソコンにあるドライブやフォルダをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。
（詳細はWindowsのヘルプを参照してください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



以上で、ネットワークの設定は終了です。

参考

既存の LAN のネットワークと本製品を利用したネットワークを接続することもできます。詳細は、【付録4】(132 ページ)を参照してください。

MEMO

付録 1

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

インストールおよび接続時のトラブル

状態	参照ページ
パソコンの USB ポートに、本製品のコネクタが入らない	93
Windows を起動したときに「不明なデバイス」と表示されたまま、画面が消えない	

ピア・ツー・ピアモード実行中のトラブル

状態	参照ページ
デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK PC Link Cable」が表示されない、または「！」印が表示される	94
ユーティリティを起動しても、リモートマシンのファイル一覧が表示されない	
[開く]コマンドや[印刷]コマンドが淡色表示になっていて使えない	95
複数台接続しているが、他のパソコンのファイル一覧を表示したい	

ネットワークモード実行中のトラブル

状態	参照ページ
デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK Network Adapter」が表示されない、または「！」印が表示される	96
デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK Network Cable」が表示されない、または「！」印が表示される	
[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）で、接続したはずのパソコンが表示されない	97
Windows を終了しようとすると「このコンピュータに接続しているユーザーが. . . . . 続けますか？」と表示される	98
[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）で、共有したいフォルダやプリンタが表示されない	
ログオンした後に、「…..への再接続時に次のエラーが発生しました」と表示される	99
（Windows Me/98 のみ） [ネットワーク]画面に、 [TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、 [TCP/IP－＞I-O DATA USB-LINK Network Adapter] が表示されていない	100

インストールおよび接続時のトラブル

パソコンの USB ポートに、本製品のコネクタが入らない

原因	コネクタの向きが逆である
対処	コネクタには向きがあります。無理に入れようとしないで、コネクタの向きを確認してから、差しこんでください。

Windows を起動したときに「不明なデバイス」と表示されたまま、画面が消えない

原因	サポートソフトをインストールする前に、本製品をパソコンに接続した
対処	[キャンセル]ボタンを押して、新しいハードウェアの追加を終了します。本製品を抜き、パソコンを再起動してください。その後で、サポートソフトをインストールします。本製品を差し込むのはサポートソフトをインストールしてから行ってください。

ピア・ツー・ピアモード実行中のトラブル

デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK PC Link Cable」が表示されない、または「！」印が表示される

原因	ケーブルの接続が正しくない
対処	本製品の取り付けを確認します。正しく差し込まれていても表示されない場合は、いったん、本製品を取り外した後、サポートソフトをアンインストール（149ページ参照）してから、パソコンを再起動します。 11 ページ～を参照して、もう1度、インストールと接続をやり直してください。

ユーティリティを起動しても、リモートマシンのファイル一覧が表示されない

原因1	ケーブルの接続が正しくない
対処	【接続が正常かを確認する】(22 ページ)を参照してデバイスマネージャ画面で正しく認識されているか、確認してください。（確認はローカルマシンおよびリモートマシンの両方で行います。）

原因2	リモートマシンでユーティリティが起動されていない
対処	ユーティリティは接続したパソコンの両方で起動する必要があります。リモートマシンでユーティリティを起動してください。

原因3	リモートマシンのウィンドウを閉じている
対処	ユーティリティの画面右下のランプが2つとも緑色の場合は、リモートマシンのウィンドウが閉じているだけです。[接続]メニューの[リモート]を実行してください。また、ウィンドウが隠れている場合もありますので、[ウィンドウ]メニューの[上下に並べて表示]を実行してみてください。

[開く]コマンドや[印刷]コマンドが淡色表示になっていて使えない

原因1	選択したファイルの拡張子に応じたアプリケーションが設定されていない
対処	2つのコマンドが使えるのは、以下の【参考】で指定されている拡張子を持つファイルだけです。ファイルタイプを指定してから行ってください。



参考

アプリケーションの関連付けは、以下の手順で設定できます。

・Windows XP/2000 の場合

［マイコンピュータ］（Windows XP は［スタート］→［マイコンピュータ］）→［表示］→［フォルダオプション］の［ファイルの種類］タブまたは［ファイルタイプ］で行います。

詳しくは、Windows のヘルプまたは取扱説明書を参照してください。

・Windows Me/98 の場合

［マイコンピュータ］→［表示］→［フォルダオプション］の［ファイルタイプ］で行います。詳しくは、Windows のヘルプまたは取扱説明書を参照してください。

原因2	複数のファイルを選択している、または、ファイルが選択されていない
対処	ファイルを1つだけ選択してください。

複数台接続しているが、他のパソコンのファイル一覧を表示したい

対処	[表示]メニューの[設定]コマンドでケーブル番号を変更してください。 ケーブル番号は、本製品を接続した順に「1」から割り振られています。 ファイル一覧を見ながら、何番がどのパソコンかを確認してください。 1度すべてのケーブルを抜いてから、1番にしたいパソコンから順に差し直せば、ケーブル番号を割り直すことができます。

ネットワークモード実行中のトラブル

デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK Network Adapter」が表示されない、または「！」印が表示される

原因1	ケーブルの接続が正しくない
対処	本製品の接続を確認します。 正しく差し込まれていても表示されない場合は、いったん、本製品を取り外した後、サポートソフトをアンインストール（149ページ参照）してから、パソコンを再起動します。 45 ページ～を参照して、もう1度、インストールと接続をやり直してください。

原因2	ネットワークモードでインストールされていない
対処	本製品を取り外した後、サポートソフトをアンインストール（149 ページ参照）して、パソコンを再起動します。 45 ページ～を参照して、もう1度、インストールと接続をやり直してください。

デバイスマネージャ画面で、「I-O DATA USB-LINK Network Cable」が表示されない、または「！」印が表示される

原因1	ケーブルの接続が正しくない
対処	本製品の接続を確認します。 正しく差し込まれていても表示されない場合は、いったん、本製品を取り外した後、サポートソフトをアンインストール（149ページ参照）してから、パソコンを再起動します。 45 ページ～を参照して、もう1度、インストールと接続をやり直してください。

原因2	ネットワークモードでインストールされていない
対処	本製品を取り外した後、サポートソフトをアンインストール（149 ページ参照）して、パソコンを再起動します。 45 ページ～を参照して、もう1度、インストールと接続をやり直してください。

[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）で、接続したはずのパソコンが表示されない

原因1	本製品の接続が正しくない
対処	接続したパソコンおよび接続形態を確認してください。 正しく接続されているようなら、57 ページ【接続が正常かを確認する】を参照してデバイスマネージャ画面で確認してください。

原因2	Windows98 起動時のログオン画面でキャンセルを選んだ
対処	ログオン画面でキャンセルを選ぶと、ネットワークへは接続されません。[スタート]→「. . . のログオフ」を選び、いったんログオフしたあと、再度ログオン画面が表示されたら、正しいユーザー名とパスワードを入力して、ログオンしてください。接続したパソコンがすべてログオンされていることを確認してください。

原因3	接続タイミングが悪い
対処	しばらく待って、もう1度、「ネットワークコンピュータ」を実行してください。表示される場合があります。それでもだめな場合は、接続したはずのパソコンを再起動し、ログオンしてください。 また、以下を実行してコンピュータ名を検索することもできます。 ・Windows XP の場合 → [スタート]→[検索]→[コンピュータまたは人]→[ネットワーク上のコンピュータ]を実行 ・Windows 2000 の場合 → [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]をクリック後、[検索結果]画面左下の[コンピュータ]を実行 ・Windows Me/98 の場合 → [スタート]→[検索]→[ほかのコンピュータ]を実行

原因4	コンピュータ名が違っている
対処	ネットワークコンピュータで表示されるパソコン名は、ネットワーク設定を行ったときの[フルコンピュータ名]（または[コンピュータ名]）です。 以下の個所を参照して、[フルコンピュータ名]（または[コンピュータ名]）を確認してください。 ・Windows XP の場合　→　69 ページ ・Windows 2000 の場合　→　76 ページ ・Windows Me/98 の場合　→　82 ページ

原因5	IP アドレスを割り当てていない
対処	NetBEUI など、他のプロトコルを使用するか、「TCP/IP-> I-O DATA USB-LINKNetwrok　Adapter」のプロパティにて IP アドレスを割り当ててください。IP アドレスに関する詳細は、TCP/IP 関連の書籍をご覧ください。

Windows を終了しようとすると「このコンピュータに接続しているユーザーが. . . . . 続けますか？」と表示される

原因	他のパソコンで、このパソコンの共有フォルダを使っている
対処	他のパソコンを確認してください。ネットワーク接続中であれば、その接続を終了するまで、このパソコンは終了しないでください。 パソコンを終了するときは、共有フォルダを使用しているパソコンから先に電源を切り、共有フォルダが存在するパソコンの電源は最後に切ってください。

[マイネットワーク]（または[ネットワークコンピュータ]）で、共有したいフォルダやプリンタが表示されない

原因1	指定するパソコンが違っている
対処	実際にフォルダが存在するパソコンかどうか、プリンタが接続されているパソコンかどうか、コンピュータ名が間違っていないかを確認してください。

原因2	共有指定がされていない
対処	ネットワークコンピュータでフォルダやプリンタを使用したいときは、先にフォルダやプリンタの共有設定が必要です。以下の個所を参照してください。 ・Windows XP の場合　→　69 ページ ・Windows 2000 の場合　→　76 ページ ・Windows Me/98 の場合　→　82 ページ

原因3	共有名が違っている
対処	ネットワークコンピュータで表示されるフォルダやプリンタは、共有設定を行ったときの「共有名」です。共有名には、実際のフォルダ名やプリンタ名と異なる名称が設定できます。共有名を確認してください。

ログオンした後に、「…..への再接続時に次のエラーが発生しました」と表示される

原因	ネットワークドライブが実際に存在するパソコンがネットワークに接続されていない
対処	ネットワークドライブの設定を行うとき、「ログオン時に再接続」を選ぶことができます。ここをチェックしておくとログオン時に自動的にネットワークドライブの設定を行いますが、ログオン時に接続先のパソコンがネットワークに接続されていないときに、このメッセージが表示されます。 次回ログオン時に再接続したいときは[はい]ボタンを押してください。[はい]または[いいえ]のどちらのボタンを押したときでも、今回はそのネットワークドライブを使用できません。接続先のパソコンでネットワークにログオンしてから、このパソコンを再度ログオンしてください。 ネットワークを使用するときは、共有フォルダがあるパソコンを先に起動するようにしてください。

（Windows Me/98 のみ）
[ネットワーク]画面に、[TCP/IPー＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、[TCP/IPー＞I-O DATA USB-LINK Network Adapter]が表示されていない

原因	登録されている LAN アダプタの数が多い （登録できる LAN アダプタの数には、制限があります。）
対処	[ネットワーク]画面で、必要の無い、あるいは使用していない LAN アダプタをクリックして、[削除]ボタンで削除してください。 ●*必要の無い LAN アダプタの例* ・以前使用していたが、現在使用していない LAN アダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 ※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。 また、パソコン本体の BIOS の設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。 ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

付録2

ネットワークコンポーネントのインストール

ここでは、ネットワーク上で必要となる[ネットワークコンポーネント]のインストール手順について説明します。

・*Windows Me/98でのネットワークコンポーネントのインストール*

・*[Microsoftネットワーククライアント]のインストール* → 次ページ
・*プロトコルのインストール* → 105ページ

・*Windows XPでのネットワークコンポーネントのインストール*

・*クライアントのインストール* → 108ページ
・*プロトコルのインストール* → 112ページ

・*Windows 2000でのネットワークコンポーネントのインストール*

・*クライアントのインストール* → 117ページ
・*プロトコルのインストール* → 120ページ

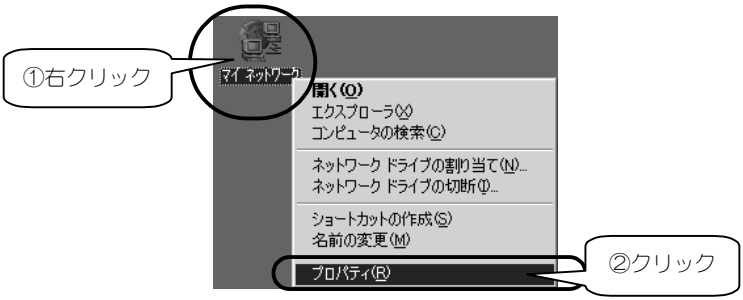
Windows Me/98 での ネットワークコンポーネントのインストール

インストールしたいネットワークコンポーネント	参照個所
[Microsoft ネットワーククライアント]	
[IPX/SPX 互換プロトコル]	105 ページ
[TCP/IP]	
[NetBEUI]	
[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]	

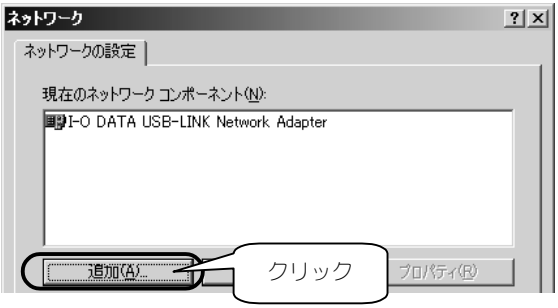
[Microsoftネットワーククライアント]のインストール

ここでは、Windows Me/98 での以下の[Microsoft ネットワーククライアント]のインストール手順について説明します。

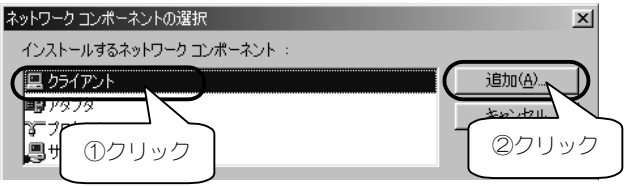
1 デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



2 [追加]ボタンをクリックします。



3 [クライアント]をクリックし、[追加]ボタンをクリックします。

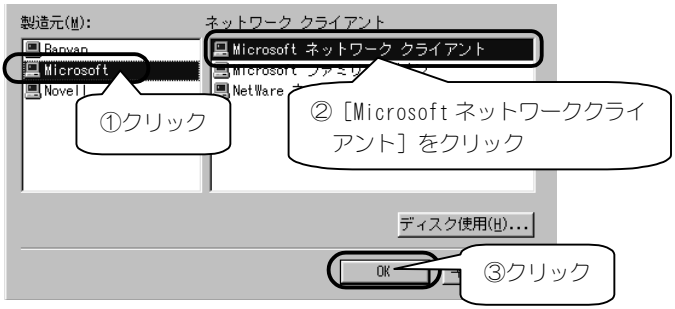


4 [製造元]欄が表示されている場合は、[Microsoft]をクリック後、をクリック後、以下の[Microsoftネットワーククライアント]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

・*Windows Meでの表示例*



・Windows 98での表示例



5 2の手順の画面に戻りますので、インストールしたクライアントが表示されることを確認してください。
[優先的にログオンするネットワーク]に[Microsoftネットワーククライアント]を選択します。
[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。



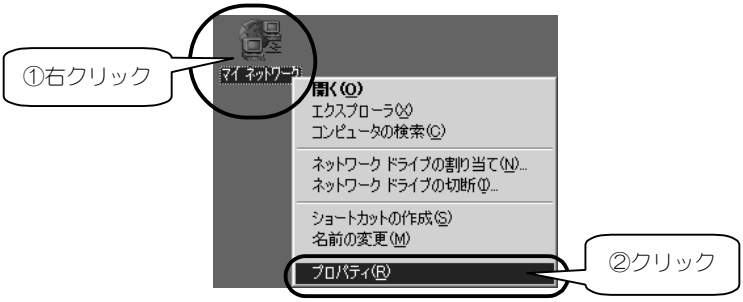
後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。
以上で、クライアントのインストール手順は終了です。

プロトコルのインストール

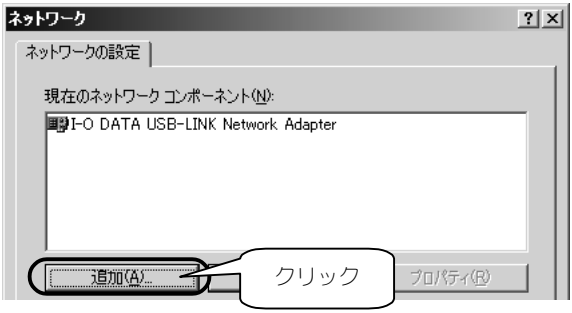
ここでは、Windows Me/98 での以下のプロトコルのインストール手順について説明します。

- *[IPX/SPX 互換プロトコル]*
- *[TCP/IP]*
- *[NetBEUI]*
- *[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]*

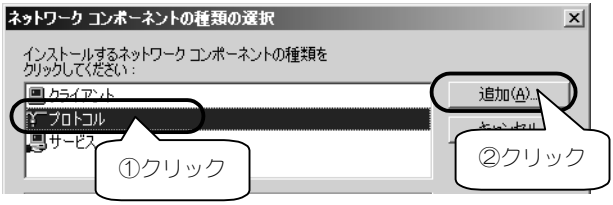
1 デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



2 [追加]ボタンをクリックします。



3 [プロトコル]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。

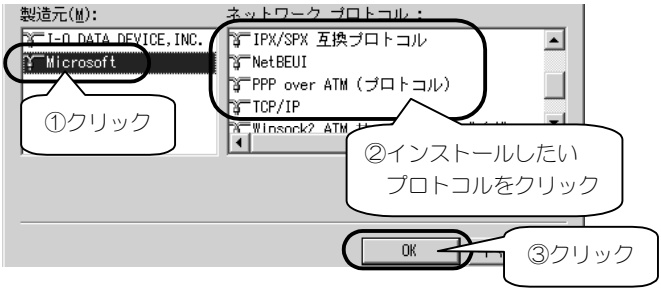


4 [製造元]欄の[Microsoft]をクリック後、
以下のインストールしたいプロトコルをクリックし、
[OK]ボタンをクリックします。

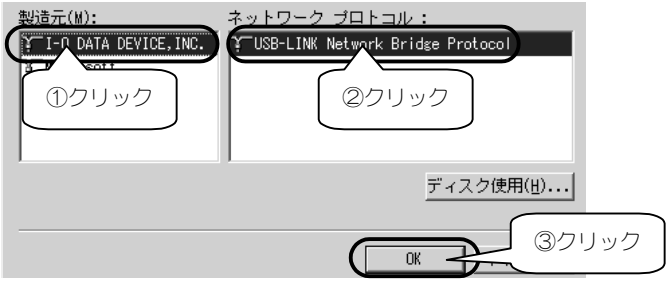
- *[IPX/SPX 互換プロトコル]*
- *[TCP/IP]*
- *[NetBEUI]*

[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]の場合は、
[製造元]に[I-O DATA DEVICE,INC.]をクリック後、
[USB-LINK Network Bridge Protocol]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

[IPX/SPX 互換プロトコル][TCP/IP][NetBEUI]の場合



[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]の場合



5 **2**の手順の画面に戻りますので、インストールしたプロトコルが表示されることを確認してください。
［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

後は、画面の指示にしたがって処理を進め、パソコンを再起動します。
以上で、プロトコルのインストール手順は終了です。

Windows XP での ネットワークコンポーネントのインストール

インストールしたいネットワークコンポーネント	参照個所
[Microsoft ネットワーク用クライアント]	以下参照
[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]	112 ページ
[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]	

[Microsoftネットワーククライアント]のインストール

ここでは、Windows XP での［Microsoft ネットワーク用クライアント］のインストール手順について説明します。

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が以下のような“カテゴリ表示画面”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

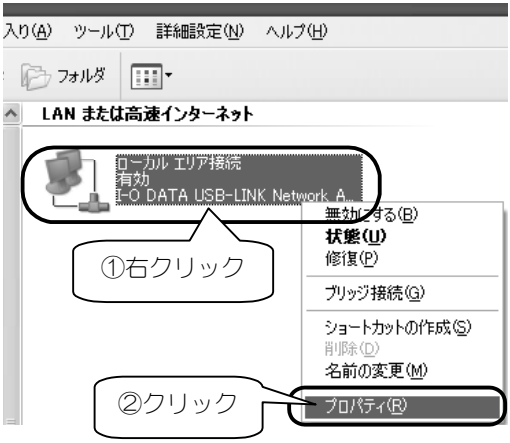


3 [ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックします。





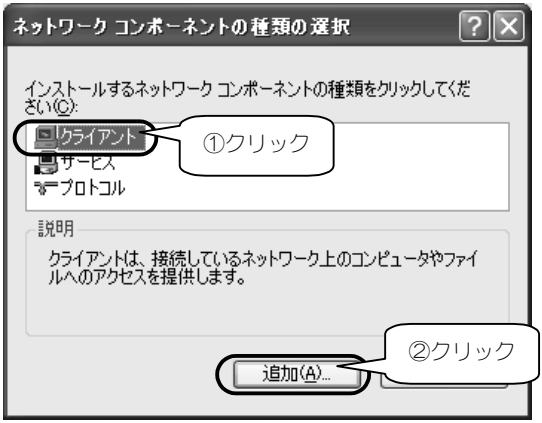
4 表示されている[I-O DATA USB-LINK Network …]アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



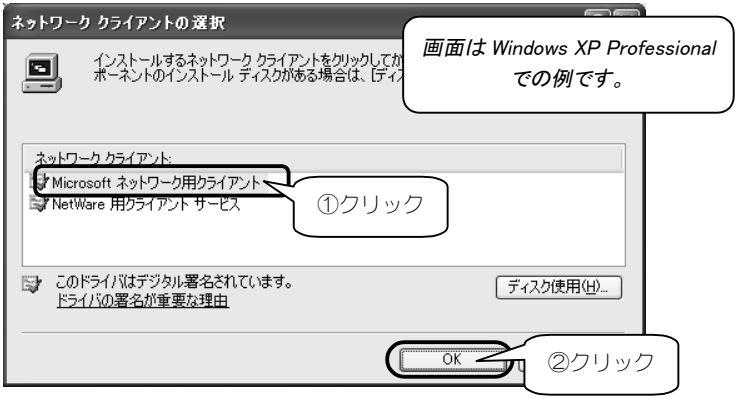
5 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、[インストール]ボタンをクリックします。



6 [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。



7 [Microsoftネットワーク用クライアント]をクリック後、[OK]ボタンをクリックします。



8 ***4***の手順の画面に戻りますので、インストールした[Microsoft ネットワーク用クライアント]が表示されていることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、[Microsoft ネットワーク用クライアント]のインストール手順は終了です。

プロトコルのインストール

ここでは、Windows XP での以下のプロトコルのインストール手順について説明します。

- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*
- *[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]*

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が以下のような“カテゴリ表示画面”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

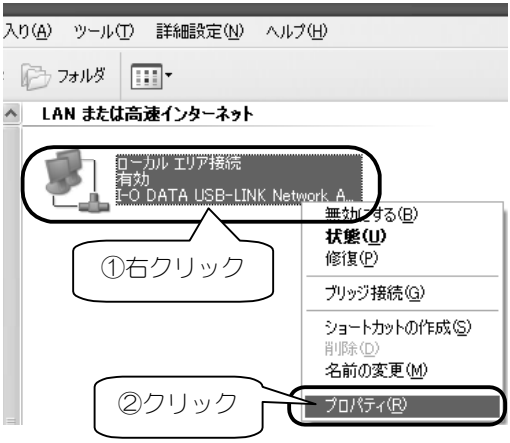


3 [ネットワーク接続]アイコンを
ダブルクリックします。





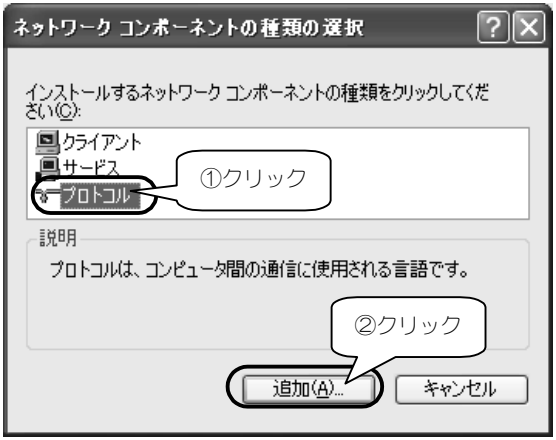
4 表示されている[I-O DATA USB-LINK Network …]アイコンを
右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



5 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、[インストール]ボタンをクリックします。



6 [プロトコル]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。

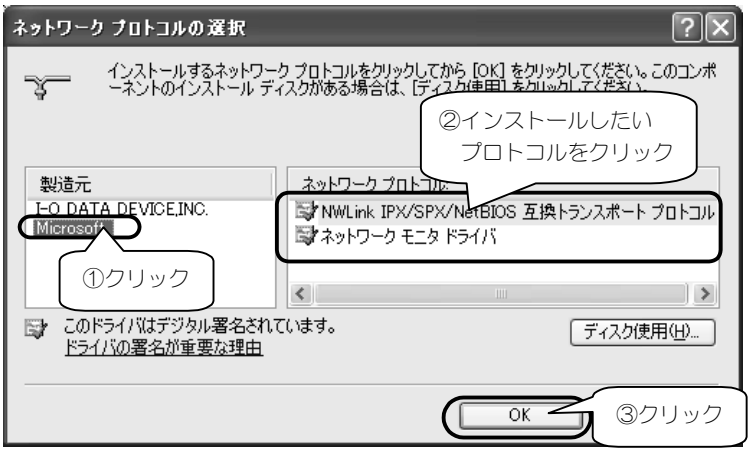


7 [製造元]欄の[Microsoft]をクリック後、
以下のインストールしたいプロトコルをクリックし、
[OK]ボタンをクリックします。

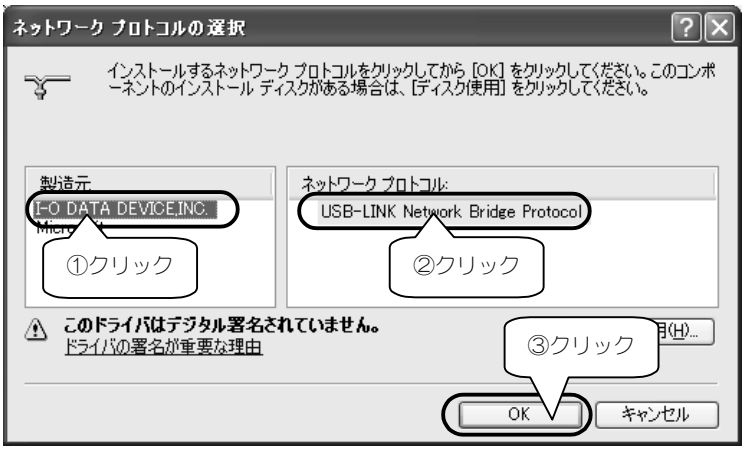
・*[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*

[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]の場合は、
[製造元]に[I-O DATA DEVICE,INC.]をクリック後、
[USB-LINK Network Bridge Protocol]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

・*[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*



・*[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]の場合*



8 *4*の手順の画面に戻りますので、
インストールしたプロトコルが表示されていることを確認して、
[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、プロトコルのインストール手順は終了です。

Windows 2000 での ネットワークコンポーネントのインストール

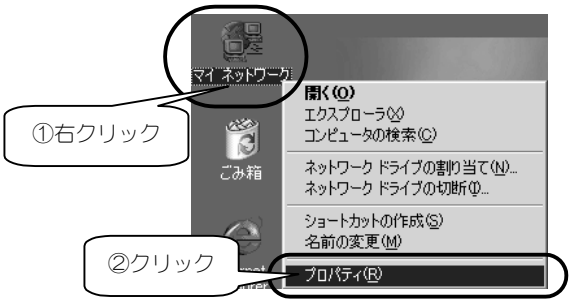
インストールしたいネットワークコンポーネント	参照個所
[Microsoft ネットワーク用クライアント]	以下参照
[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]	120 ページ
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]	
[NetBEUI プロトコル]	
[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]	

[Microsoftネットワーク用クライアント]のインストール

ここでは、Windows 2000 での［Microsoft ネットワーク用クライアント］のインストール手順について説明します。

1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

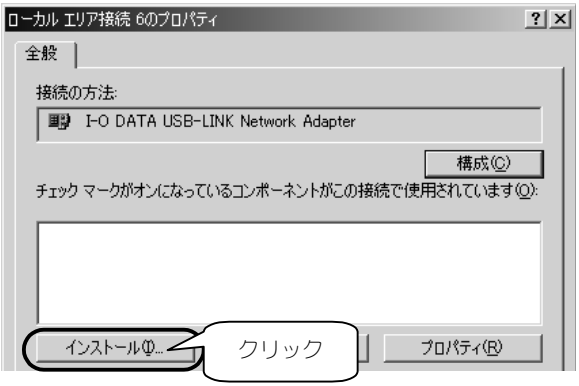
2 ［マイ ネットワーク］を右クリックし、
メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



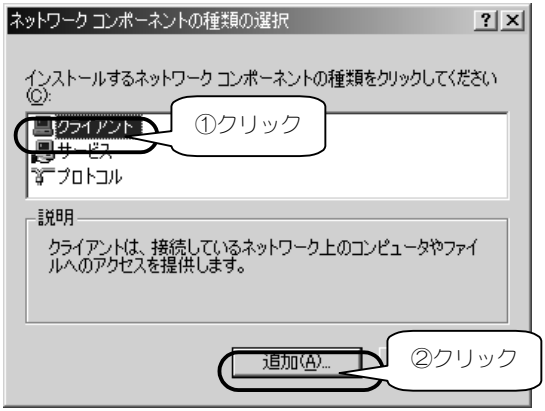
3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



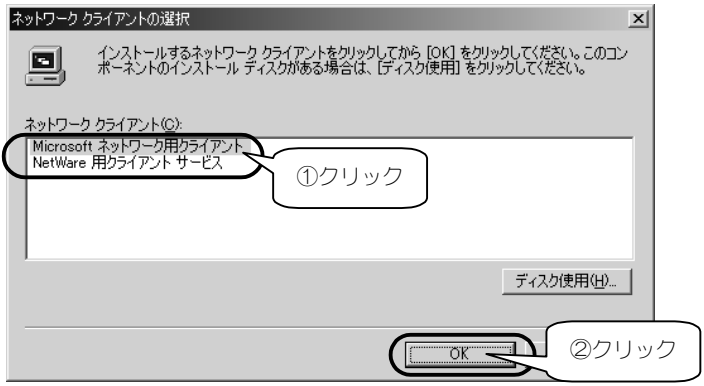
4 [インストール]ボタンをクリックしします。



5 [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。



6 [Microsoftネットワーク用クライアント]をクリック後、
[OK]ボタンをクリックします。



7 ***4***の手順の画面に戻りますので、インストールした[Microsoftネットワーク用クライアント]が表示されていることを確認して、
[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、[Microsoft ネットワーク用クライアント]のインストール手順は終了です。

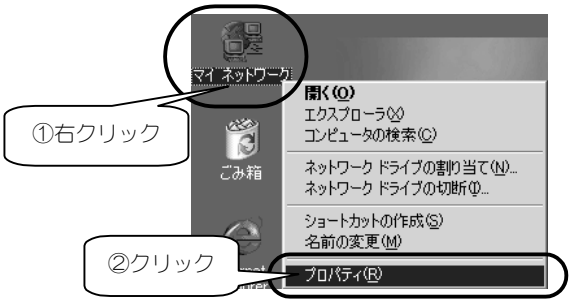
プロトコルのインストール

ここでは、Windows 2000 での以下のプロトコルのインストール手順について説明します。

- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*
- *[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*
- *[NetBEUI プロトコル]*
- *[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]*

1 Administrator権限でWindows 2000にログオンします。

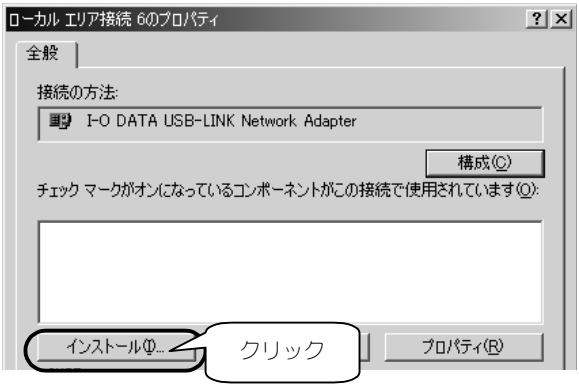
2 [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



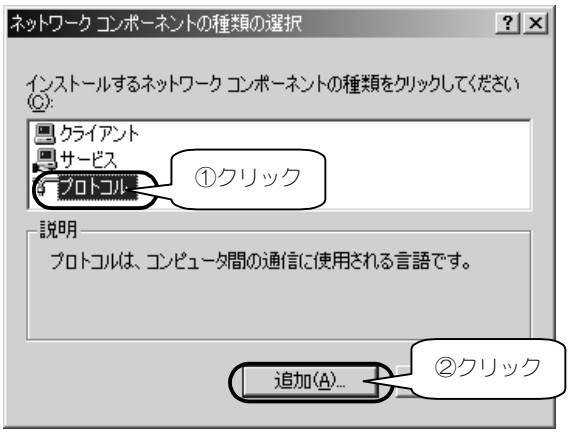
3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の
[プロパティ]をクリックします。



4 [インストール]ボタンをクリックしします。



5 [プロトコル]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。

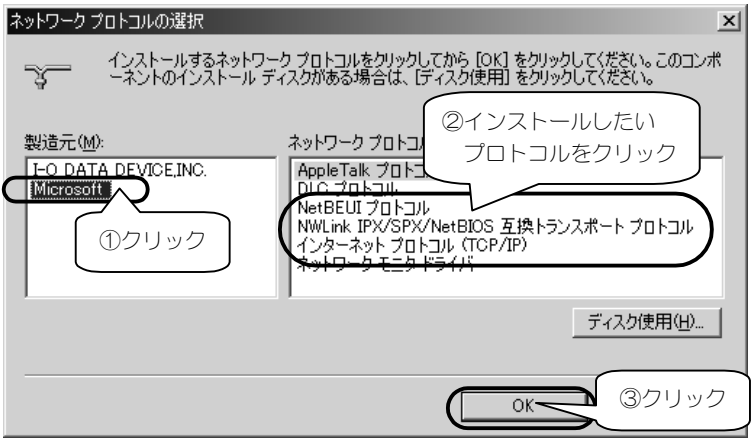


6 [製造元]欄の[Microsoft]をクリック後、
以下のインストールしたいプロトコルをクリックし、
[OK]ボタンをクリックします。

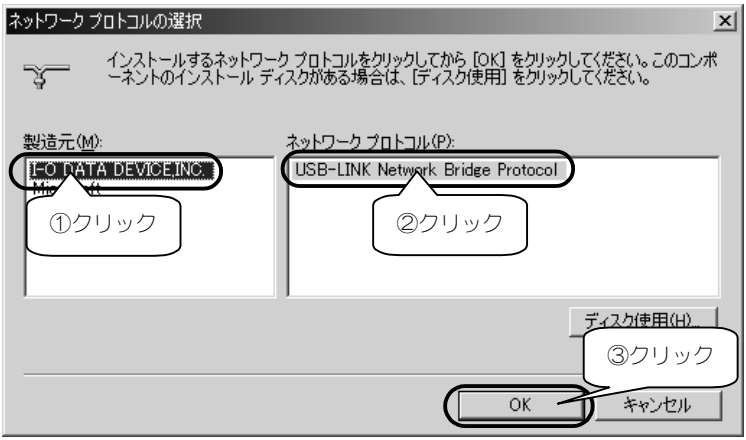
- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*
- *[インターネットプロトコル(TCP/IP)]*
- *[NetBEUI プロトコル]*

[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]の場合は、
[製造元]に[I-O DATA DEVICE,INC.]をクリック後、
[USB-LINK Network Bridge Protocol]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

- *[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロコル]*
  [インターネットプロトコル(TCP/IP)]
  [NetBEUI プロトコル]の場合



・*[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]の場合*



7 4の手順の画面に戻りますので、
インストールしたプロトコルが表示されていることを確認して、
[閉じる]ボタンをクリックします。

以上で、プロトコルのインストール手順は終了です。

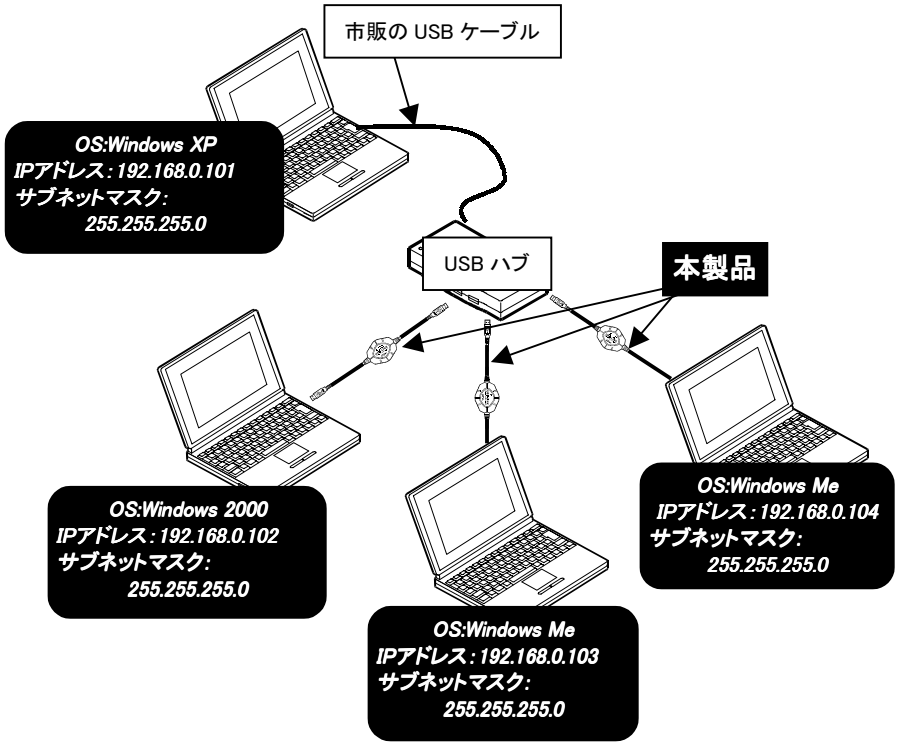
付録3

TCP/IP での IP アドレス設定

本製品を[ネットワークモード]でご利用になっている場合に、相手先のパソコンが見えない場合があります。
その場合、IPアドレスを手動で設定すれば、正常に見える場合があります。
ここでは、そのIPアドレスの設定例について説明します。

《IPアドレスの設定例》

ポイント1：IPアドレスはすべてのパソコンで別々の値を設定
ポイント2：サブネットマスクはすべて同じ値を設定



・*Windows XP の場合*
→以下の【Windows XP で IP アドレスを設定する】参照
・*Windows 2000 の場合*
→128 ページ【Windows 2000 で IP アドレスを設定する】参照
・*Windows Me/98 の場合*
→130 ページ【Windows Me/98 で IP アドレスを設定する】参照

Windows XPでIPアドレスを設定する

1 [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。



2 [コントロールパネル]が“カテゴリ表示”になっている場合は、[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

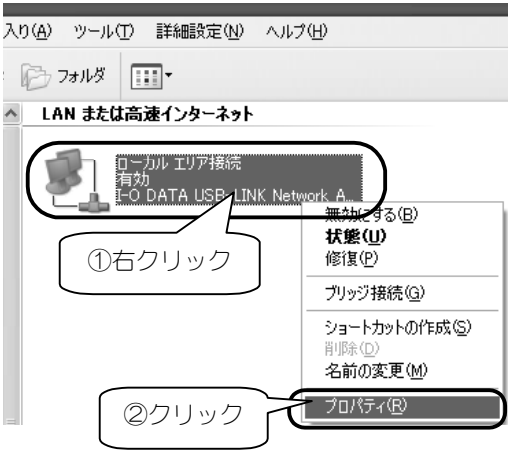


3 [ネットワーク接続]アイコンを
ダブルクリックします。





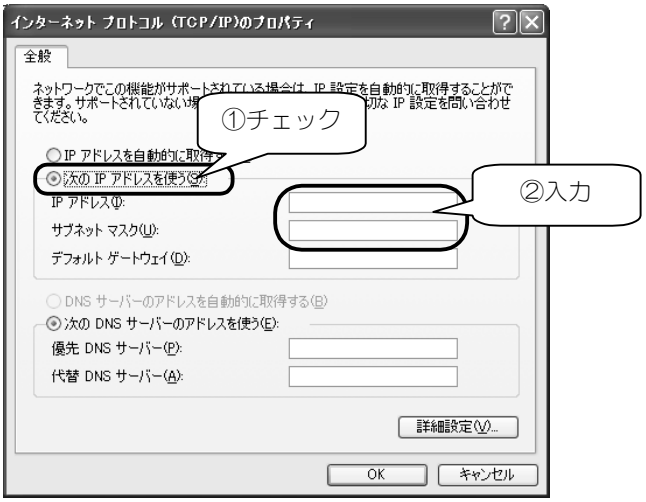
4 表示されている[I-O DATA USB-LINK Network …]アイコンを
右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



5 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



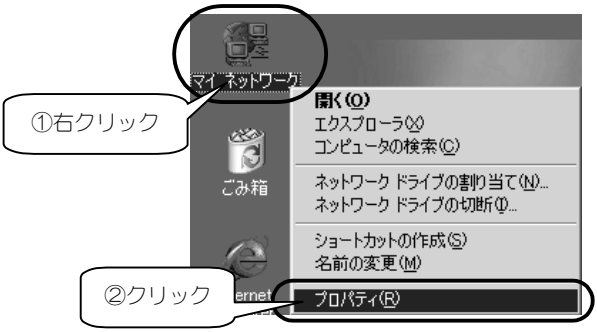
6 [次のIPアドレスを使う]をチェック後、
124ページを参考にIPアドレスとサブネットマスクを入力します。
入力後、[OK]ボタンをクリックします。



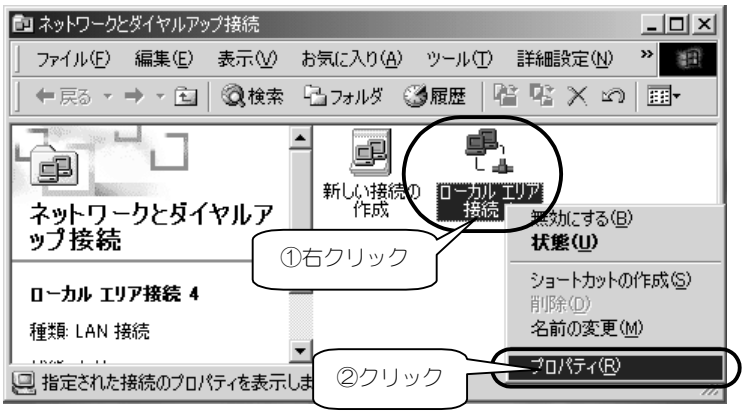
以上で Windows XP での IP アドレスの設定は終了です。

Windows 2000でIPアドレスを設定する

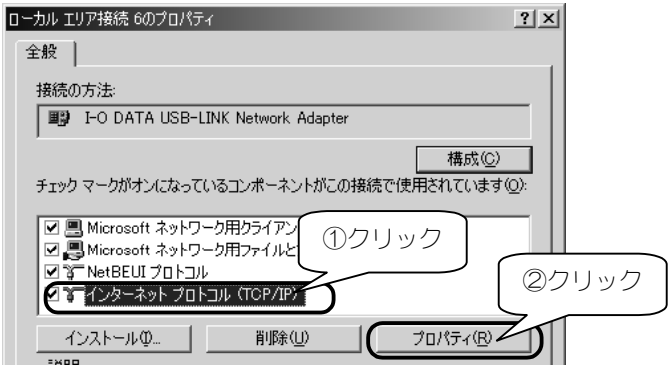
1 [マイ ネットワーク]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



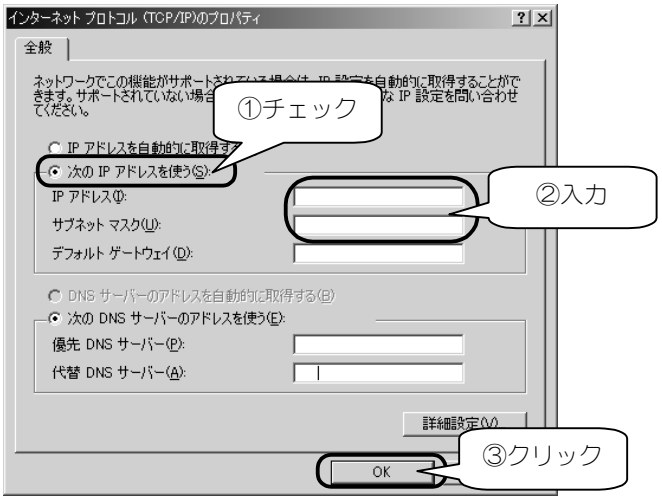
2 [ローカルエリア接続]を右クリックして、
[プロパティ]をクリックします。



3 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



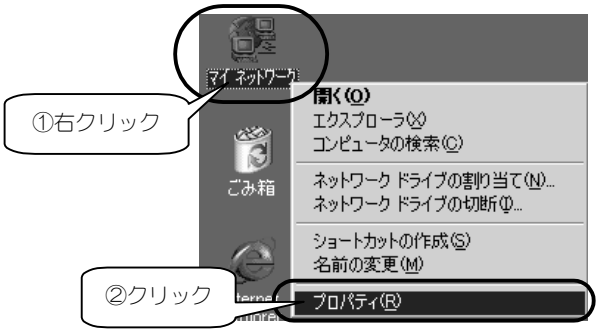
4 [次のIPアドレスを使う]をチェック後、
124ページを参考にIPアドレスとサブネットマスクを入力します。
入力後、[OK]ボタンをクリックします。



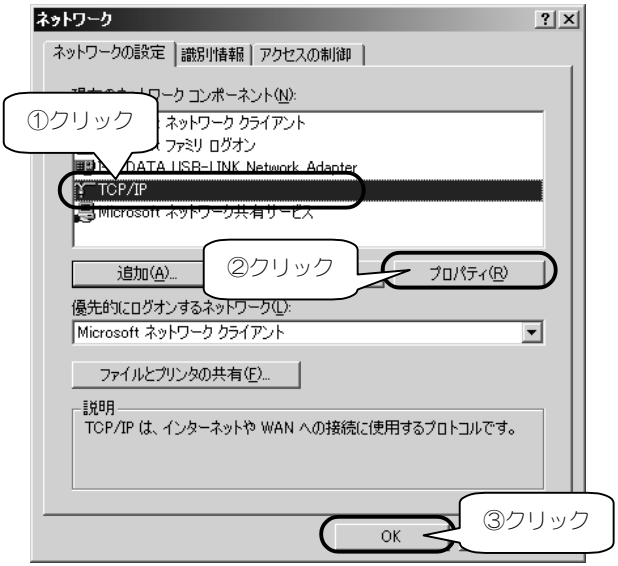
以上で Windows 2000 での IP アドレスの設定は終了です。

Windows Me/98でIPアドレスを設定する

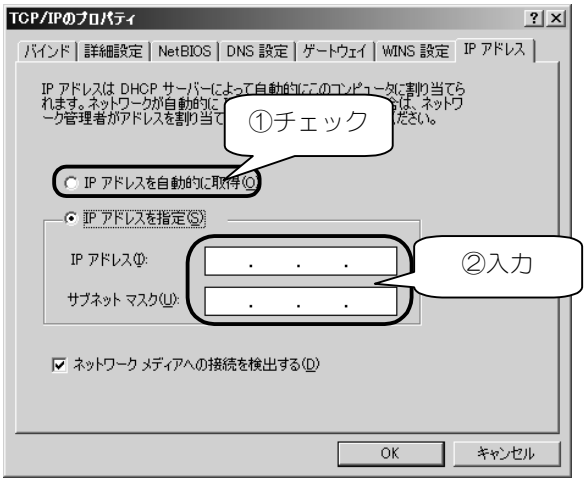
1 [マイ ネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [TCP/IP](または[TCP/IP -> I-O DATA USB-LINK Network Adapter])をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 [IPアドレスを指定]をチェック後、
124ページを参考にIPアドレスとサブネットマスクを入力します。
入力後、[OK]ボタンをクリックします。



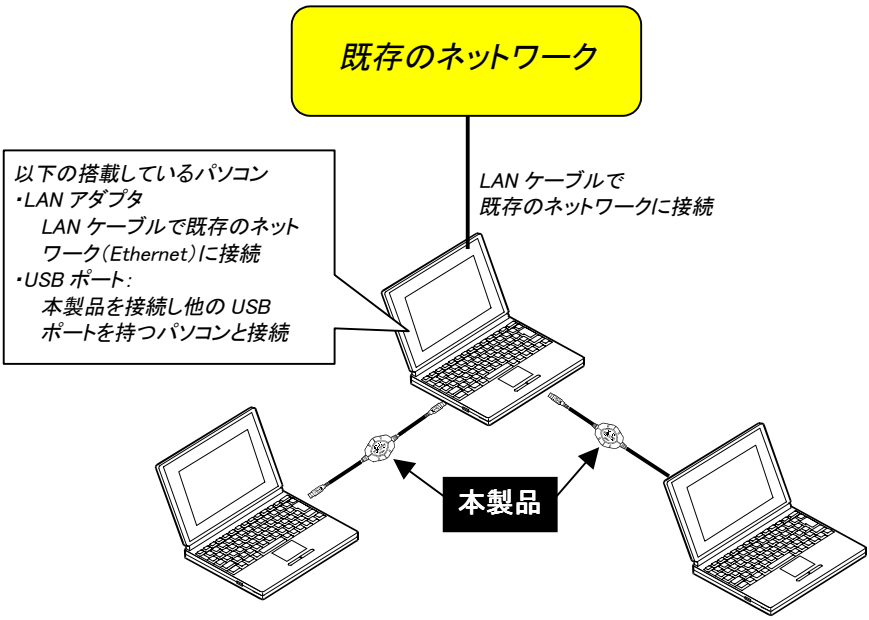
以上で Windows Me/98 での IP アドレスの設定は終了です。

付録4

既存のネットワークとの接続
([ネットワーク中継プロトコル])

本製品を[ネットワークモード]で使用している場合に、[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]を使用すれば、既存のネットワーク(Ethernet)と、本製品で構成したUSBのネットワーク同士を接続することができます。

《ネットワーク例》



設定の概要

既存のネットワークとの接続は、[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]を使用します。

また、[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]を使用してファイル共有を行いたい場合は、[NetBEUI]プロトコルを使用します。

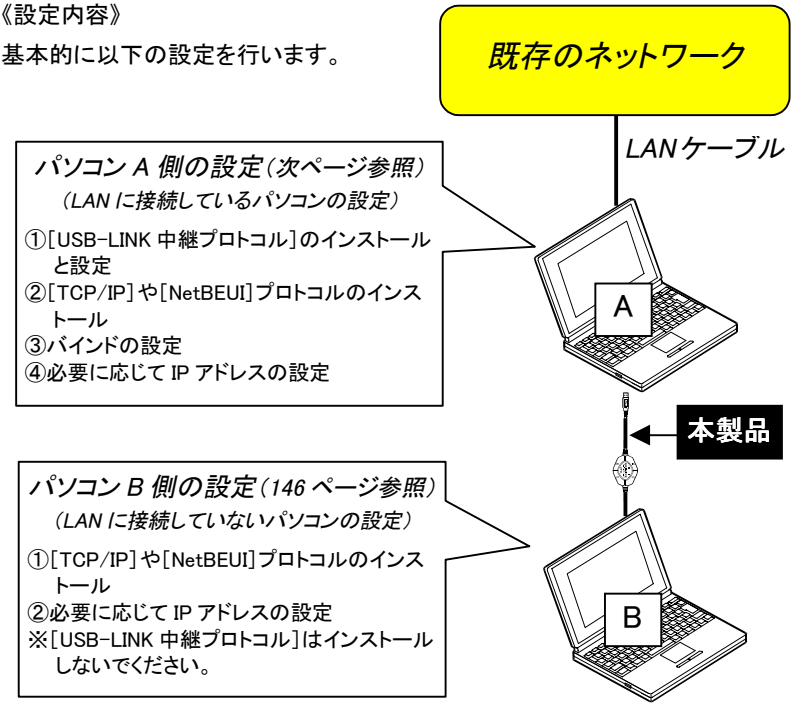
また、インターネットを共有する場合は、[TCP/IP]プロトコルを使用します。

注意！

- **[TCP/IP]を使用してファイル共有を行うことはできません。**
- **Windows XP では[NetBEUI]をサポートしていないため、Windows XP でのファイル共有を行うことはできません。**
- **本製品を使用しているパソコンの IP アドレスと、LAN のネットワークで使用している IP アドレスが重ならないようご注意ください。**

《設定内容》

基本的に以下の設定を行います。



LAN に接続しているパソコンを設定する

最初にLANのネットワークに接続しているパソコン（前ページのパソコンA）のネットワークを設定します。

ただし、ネットワークを設定する前に、以下の設定を終了しておいてください。

・LANアダプタの設定

※詳細については、LANアダプタの取扱説明書を参照してください。

・ネットワークモードのインストール

※詳細については、本書【サポートソフトをインストールする】(46ページ)を参照してください。

・[USB-LINKネットワーク共有プロトコル]のインストール

※詳細については、本書【付録2】(101ページ)を参照してください。

この後、以下の個所へお進みください。

・*LAN に接続しているパソコンが Windows XP の場合*
→次ページ【Windows XP で設定する】参照
・*LAN に接続しているパソコンが Windows 2000 の場合*
→139 ページ【Windows 2000 で設定する】参照
・*LAN に接続しているパソコンが Windows Me/98 の場合*
→143 ページ【Windows Me/98 で設定する】参照

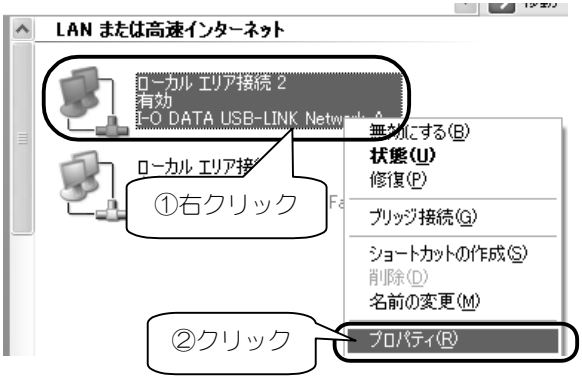
Windows XPで設定する

ここでは、LANに接続しているWindows XPパソコンでの設定について説明します。

1 [スタート]→[コントロールパネル]から[ネットワーク接続]を開きます。
本製品（[I-O DATA USB-LINK Network …]）と
LANアダプタ（以下の例は弊社製LANアダプタ[ET100-PCI-S]です）の
[ローカルエリア接続]が表示されていることを確認します。



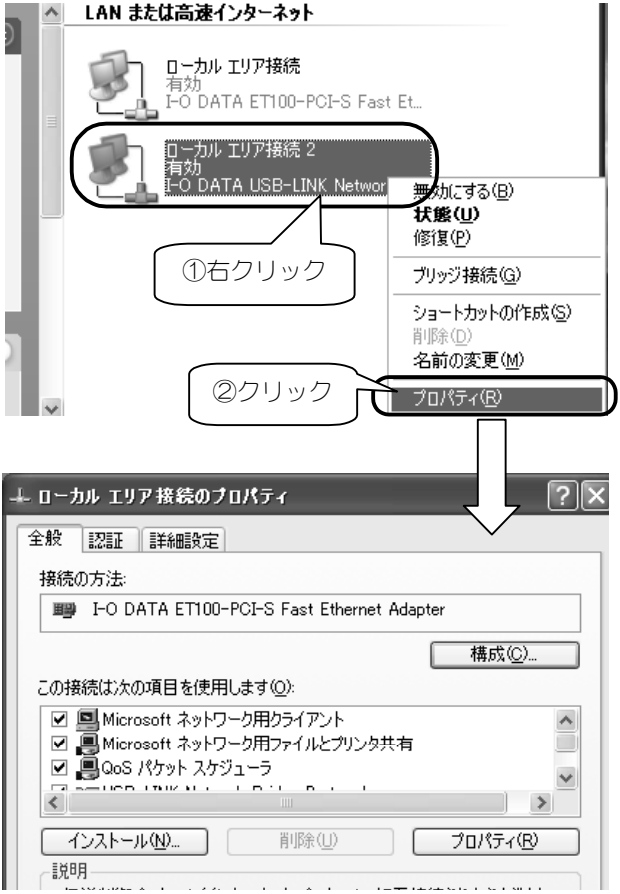
2 最初に本製品側の[ローカルエリア接続]の設定を行います。
[I-O DATA USB-LINK …]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



3 [USB-LINK Network Bridge Protocol]以外のチェックをすべて外します。
外した後、[OK]ボタンをクリックします。



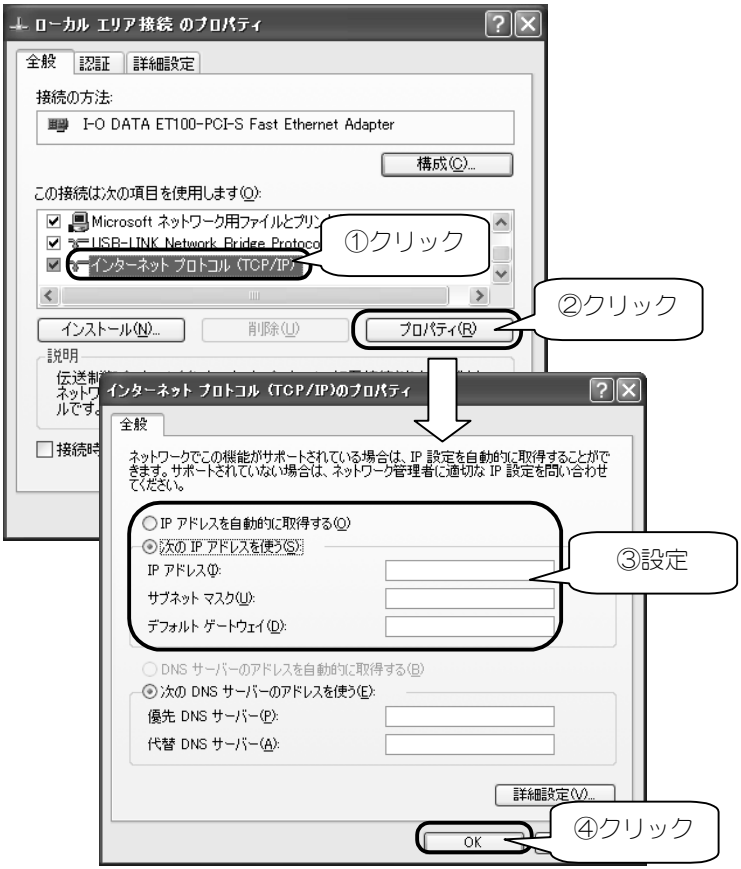
4 次にLANアダプタ側の[ローカルエリア接続]の設定を行います。（基本的に変更する必要はありません。）
LANアダプタ側の[ローカルエリア接続]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



参考

USB-LINK のローカル接続で[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]（[I-O DATA Network Bridge Protocol]）をインストールすれば、同時に LAN ボード側にもインストールされます。

5 IPアドレスを設定する場合は、LANアダプタ側の[ローカルエリア接続]で行います。
[インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリック後、IPアドレスを設定してください。

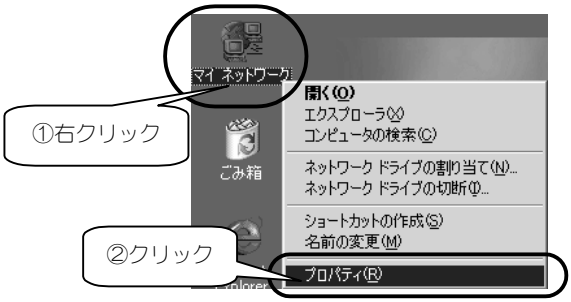


以上でWindows XPでのLANに接続したパソコンの設定は終了です。
次にLANに接続していないパソコン側の設定を行います。
【LANに接続していないパソコンを設定する】(146ページ)へお進みください。

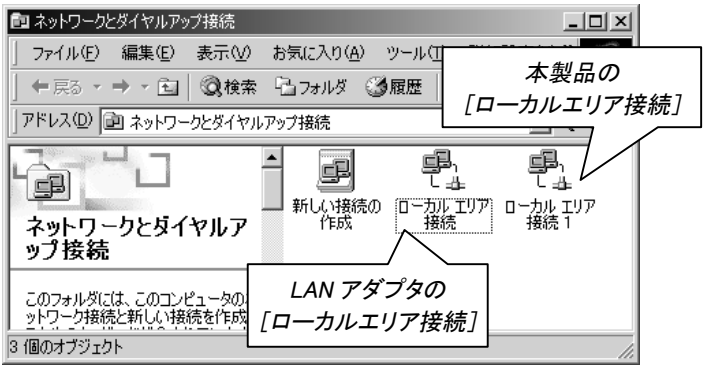
Windows 2000で設定する

ここでは、LANに接続しているWindows 2000パソコンでの設定について説明します。

1 [マイ ネットワーク]を右クリックし、
メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



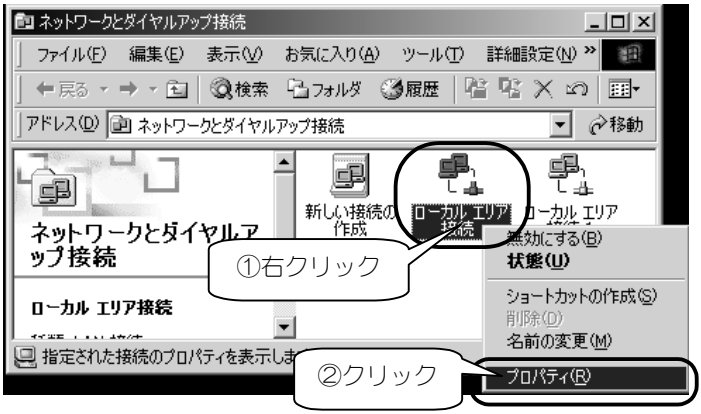
2 本製品([I-O DATA USB-LINK Network …])とLANアダプタの[ローカルエリア接続]が表示されていることを確認します。



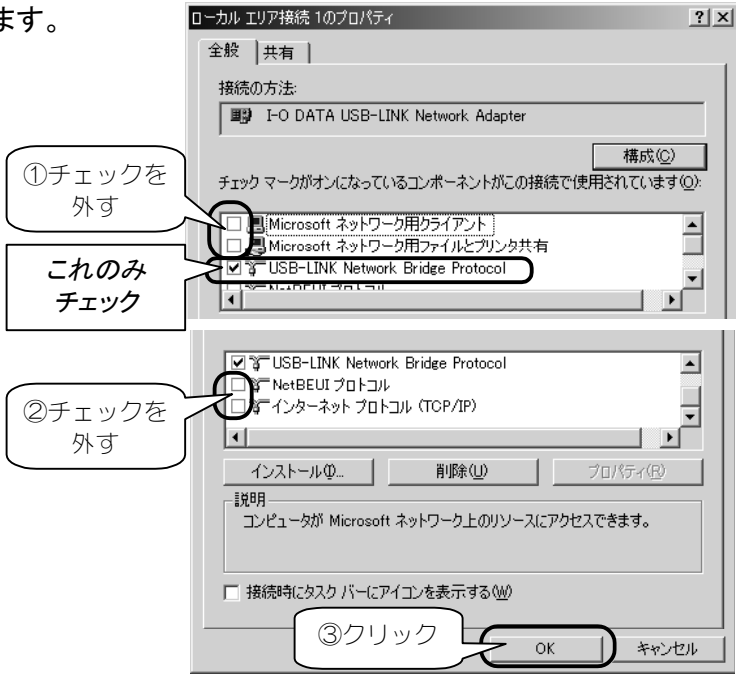
参考

上記画面では、[ローカルエリア接続]と[ローカルエリア接続1]の2つがありますが、通常先にセットアップしたアダプタが[ローカルエリア接続]となります。
本書では、LAN アダプタを先にセットアップした例で説明します。
どちらが本製品および LAN アダプタかは、次ページ4の画面の[接続の方法]欄で確認できます。

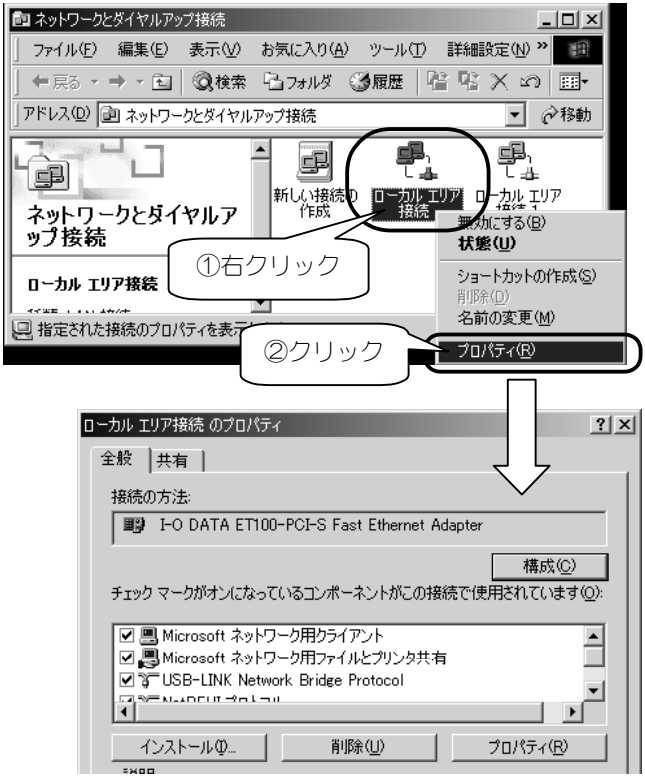
3 最初に本製品側の[ローカルエリア接続]の設定を行います。本製品の[ローカル接続]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



4 [接続の方法]に[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]と表示されていることを確認後、[USB-LINK Network Bridge Protocol]以外のチェックをすべて外し、[OK]ボタンをクリックします。



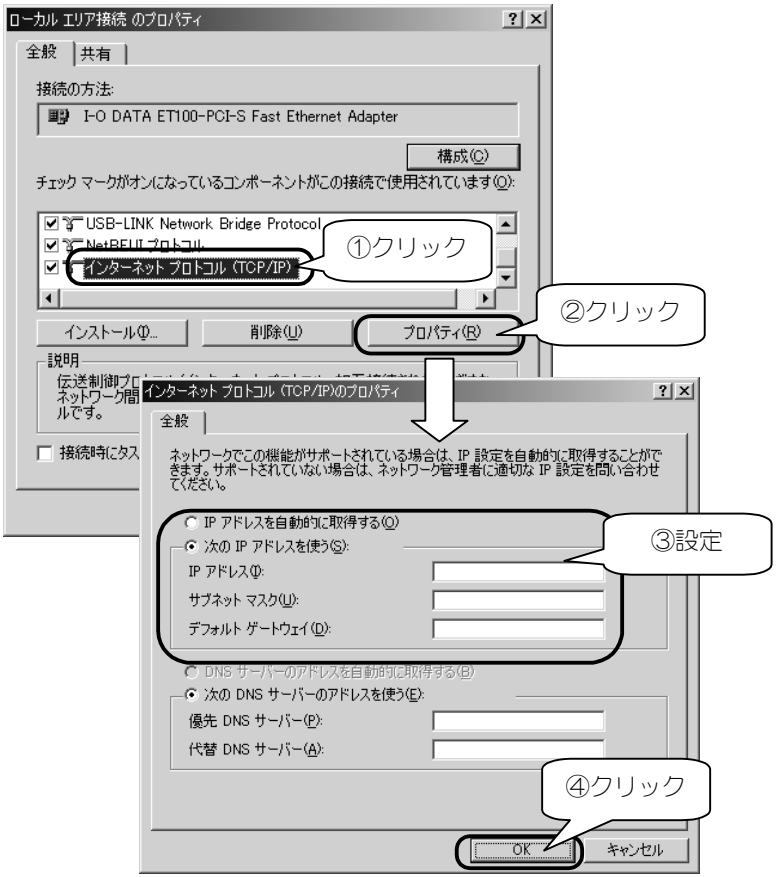
5 次にLANアダプタ側（以下の例は弊社製LANアダプタ[ET100-PCI-S]です）の[ローカルエリア接続]の設定を行います。（基本的に変更する必要はありません。）
LANアダプタ側の[ローカルエリア接続]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



参考

USB-LINK のローカル接続で[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]（[I-O DATA Network Bridge Protocol]）をインストールすれば、同時に LAN ボード側にもインストールされます。

6 IPアドレスを設定する場合は、LANアダプタ側の[ローカルエリア接続]で行います。
[インターネットプロトコル（TCP/IP）]をクリック後、IPアドレスを設定してください。

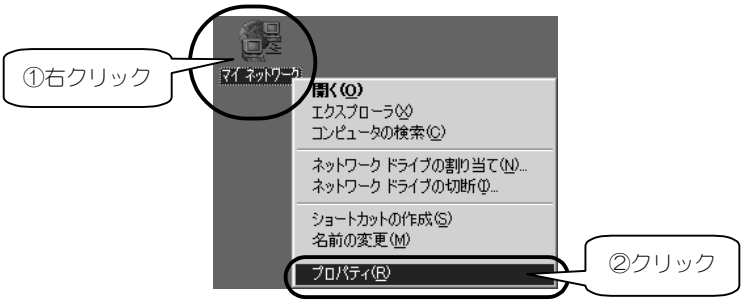


以上でWindows 2000でのLANに接続したパソコンの設定は終了です。
【LANに接続していないパソコンを設定する】(146ページ)へお進みください。

Windows Me/98で設定する

ここでは、LAN に接続している Windows Me/98 パソコンでの設定について説明します。

1 デスクトップ上の[マイネットワーク](または[ネットワークコンピュータ])アイコンを右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



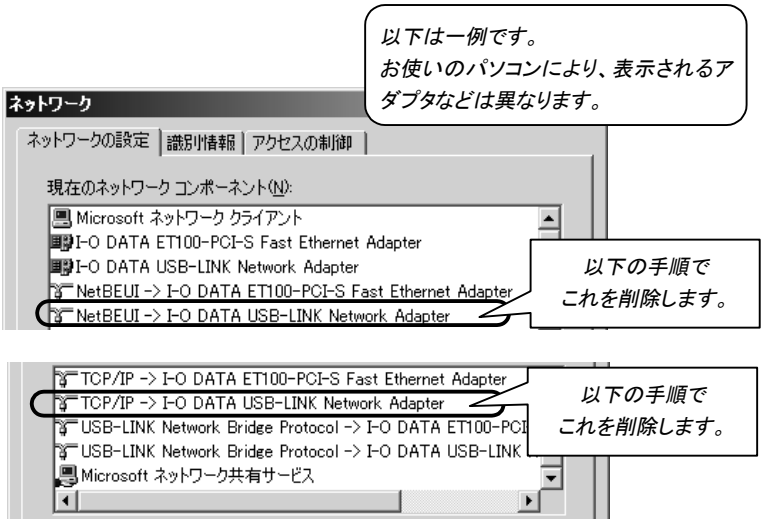
2 以下のような画面が表示されます。
次ページに[現在のネットワークコンポーネント]の詳細を説明します。



画面は本製品と LAN アダプタに弊社製「ET100-PCI-S」を取りつけている場合での例です。次ページ以降でもこの画面を例に説明します。

・[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]インストール後の画面の詳細

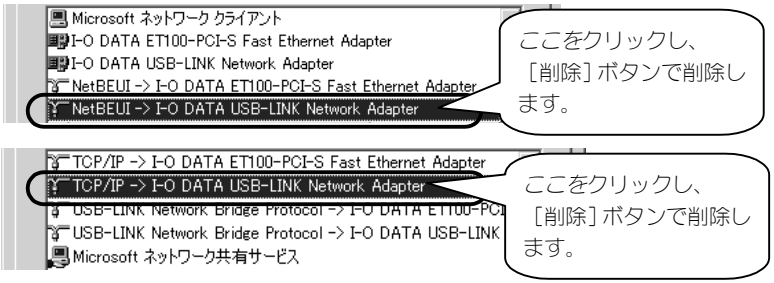
［USB-LINK ネットワーク中継プロトコル］をインストールした後では、以下の設定となっています。



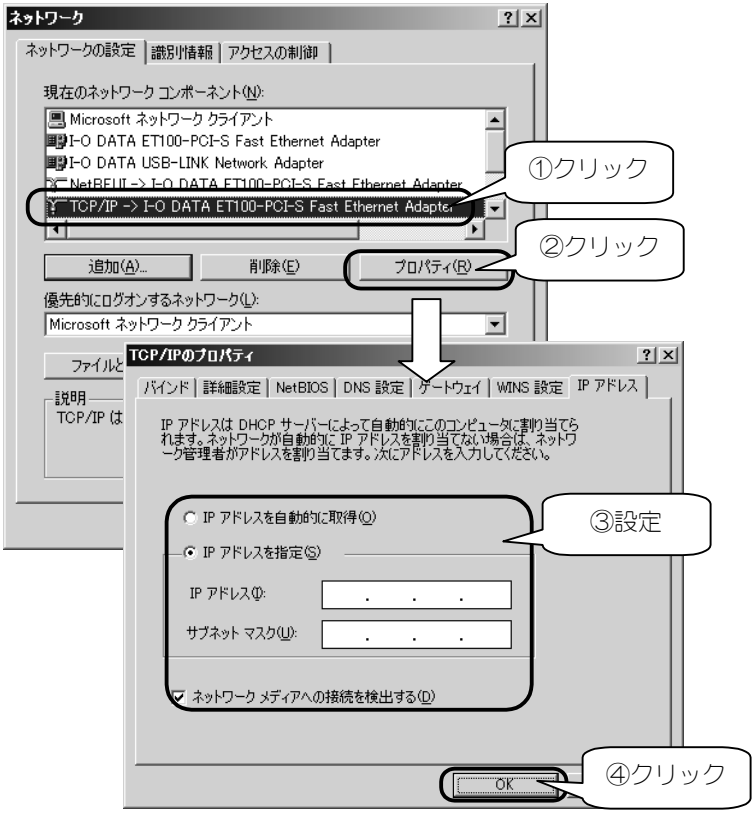
3 前ページおよび上記画面で、以下の設定を行います。

《設定内容》

[I-O DATA USB-LINK Network Adapter]には[USB-LINK Network Bridge Protocol]のみをバインドし、他のプロトコルをバインドしない。



4 IPアドレスを設定する場合は、LANアダプタ側にバインドしているTCP/IPで行います。
[TCP/IP -> xxxxxxxxx]※をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックしてIPアドレスを設定してください。
※xxxxxxxxxはLANアダプタ側を指定します。
以下の画面例では弊社製LANボード[I-O DATA ET100-PCI-S…]をクリックします。



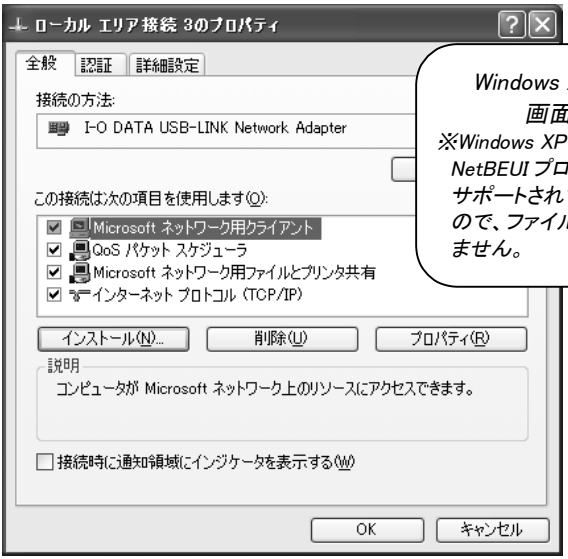
以上でWindows Me/98でのLANに接続したパソコンの設定は終了です。
次ページ【LANに接続していないパソコンを設定する】へお進みください。

LAN に接続していないパソコンを設定する

注意！

- **LAN に接続していないパソコン側では、[USB-LINK ネットワーク中継プロトコル]はインストールしないでください。**
- **Windows 2000 および Windows Me/98 では NetBEUI プロトコルをインストールしていればファイル共有ができますが、Windows XP では、NetBEUI プロトコルがサポートされていませんので、Windows XP でファイル共有を行うことはできません。**
- **インターネット共有を行う場合は TCP/IP がインストールされ、IP アドレスを設定しいる必要があります。**

1 46ページ【サポートソフトをインストールする】でインストールした状態となっていることを確認します。
確認後、IPアドレスの設定を行います。148ページ*2*の手順へお進みください。



Windows XP での画面例
※Windows XP では NetBEUI プロトコルがサポートされていませんので、ファイル共有はできません。

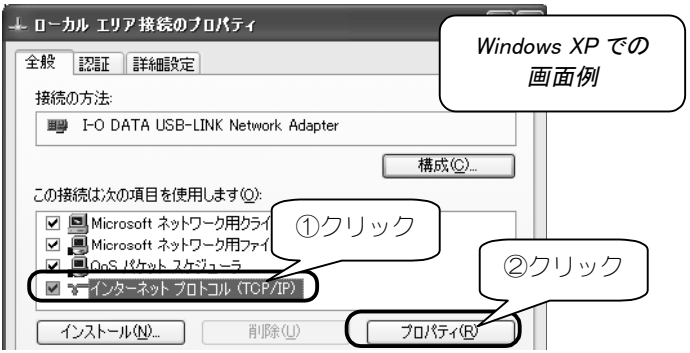


Windows 2000 での画面例



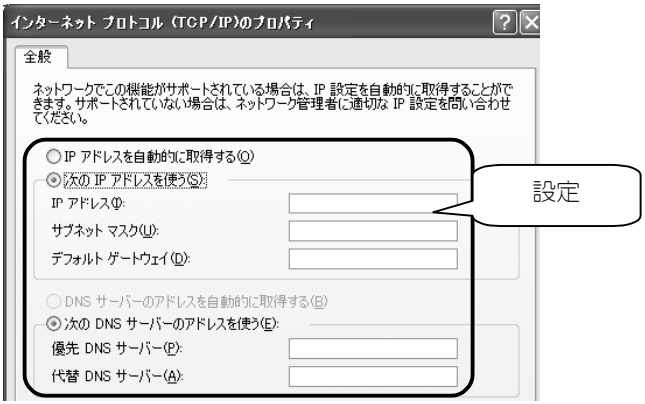
Windows Me での画面例

2 [インターネットプロトコル（TCP/IP）]（※Windows　Me/98では[TCP/IP]）をクリック後、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

IPアドレス	[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]をインストールしたパソコンのLANアダプタの[IPアドレス]と同じクラスで別のIPアドレス（既存のネットワークとも別のIPアドレス）
サブネットマスク	[USB-LINKネットワーク中継プロトコル]をインストールしたパソコンのLANアダプタと同じ[サブネットマスク]
優先DNSサーバー	[優先DNSサーバー][代替DNSサーバー]
代替DNSサーバー	※[優先DNSサーバー][代替DNSサーバー]はインターネットを行う場合のみ設定



以上でLANに接続していないパソコン側の設定は終了です。

付録5

サポートソフトを削除する場合

ここでは、「サポートソフト」CD-ROMからインストールしたサポートソフトの削除手順について説明します。

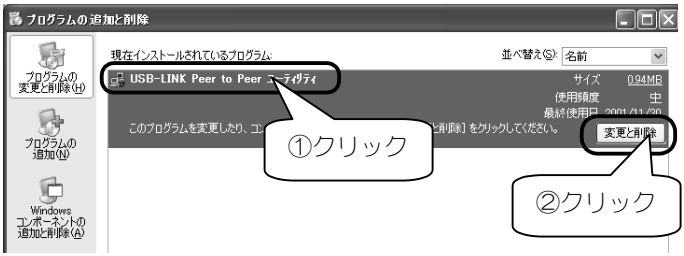
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]
(Windows XPの場合は[スタート]→[コントロールパネル])
を順にクリックします。

2 [プログラムの追加と削除](または[アプリケーションの追加と削除])
を順に開きます。

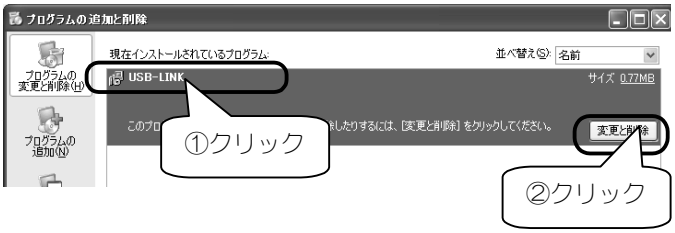
3 表示されている[プログラムの追加と削除](または[アプリケーションの追加と削除])
を順に開きます。

4 *ピア･ツー･ピアモードでお使いになっていた場合*は、
[USB-LINK Peer to Peerユーティリティ]をクリックします。
*ネットワークモードでお使いになっていた場合*は、
[USB-LINK]をクリックします。

・Windows XPで[ピア･ツー･ピアモード]でお使いになっていた場合の削除画面例



・Windows XPで[ネットワークモード]でお使いになっていた場合の削除画面例



5 [変更と削除]（または[変更/削除]や[追加と削除]）をクリックします。

6 後は画面の指示に従ってください。

以上で[USB-LINK Peer to Peerユーティリティ]の削除は終了です。

付録6

用語解説

IPX／SPX(アイピーエックス/エスピーエックス)プロトコル

(Internetwork Packet eXchange / Sequenced Packet eXchange)

Novell 社が、Xerox Network Standard(XNS)を参考に開発した独自のプロトコルで、NetWare3.11 以前のバージョンでは NetWare で使える唯一のプロトコルでした。
特徴はクライアント側に細かな設定が不要であるという点で、IP アドレスなどを自動で設定します。

Mbps(メガビーピーエス) *(Megabits per second)*

1秒間に伝送するデータの単位です。
10Mbps は1秒間に 10 メガビットのデータを伝送できます。

NetBEUI(ネットビュウイ)プロトコル *(NetBios Extended User Interface)*

IBM により、1985 年に開発されたプロトコルの名称。
Microsoft Network/LANmanager や IBM LANserver などに採用されています。
TCP/IP より高速で、Windows NT や OS/2 Warp Server などでは今でも使用できますが、NetBEUI にはルーティングできないという致命的な欠点がありネットワークの分割が不可能なため、大規模なネットワークでは事実上使用することができません。

USB(ユーエスビー) *(Universal Serial Bus)*

パソコンと周辺機器を接続する規格の1つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開されました。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一された
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる
- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる
- USB ポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない
- 複数の IRQ を使用しないので機器間の競合が少なくなる

などの特長を持ちます。
転送速度は、高速用に 12Mbps(シールド付きケーブルで最長5m まで)と、低速用に 1.5Mpbs の2種類ある。本製品は 12Mbps です。

TCP/IP（ティーシーピー／アイピー）（*Transmission Control Protocol/Internet Protocol*）

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。

トラフィック

ネットワークの情報量を指します。

ネットワークドライブ（ネットワークプリンタ）

ネットワーク上の共有ドライブまたは共有プリンタを示す。ネットワークドライブ（プリンタ）に対して、自分のパソコンにあるドライブ（プリンタ）をローカルドライブ（プリンタ）と呼びます。
ネットワークドライブ（プリンタ）はローカルドライブ（プリンタ）と同じように使用でき、またアイコンで区別できます。


ローカルドライブ


ネットワークドライブ


ローカルプリンタ


ネットワークプリンタ

ピア・ツー・ピア *(Peer to Peer)* 接続

ネットワークの接続方法の1つ。主にパソコン2台の接続を想定して考えられており、接続したパソコンのうち、どのパソコンのファイルでも共有化できる。
（本製品では、ネットワークモードで使用しても接続方法はピア・ツー・ピア接続）
ピア・ツー・ピア接続に対して、クライアントサーバー接続では、参照できるファイルはサーバーに限定されており、クライアント同士のファイル参照はできない。

付録 7

仕様

ここでは、本製品の仕様について説明します。

型式番号	USB-LINK
規格	USB Specification Rev.1.1 準拠
コネクタ	Aプラグ コネクタ x2
転送速度	12Mbps（フルスピード）
電源電圧	5V/バスパワー
消費電流	最大 100mA
使用温度範囲	0～40℃
使用湿度範囲	0～80% （ただし、結露なきこと）
ケーブル長	2m
質量	112g

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.jp/support/
「PLANT コールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、E-Mail をお送りください。

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-LINK」係宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-LINK」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
あらかじめご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット http://www.iodata.jp/lib/

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-LINK」サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

●インターネットによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

●原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
●修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
●保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合
● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「USB-LINK」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･ 梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「USB-LINK」サービス窓口
電話番号 本社　076-260-3663
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。

USB-LINK 取扱説明書
2001.Dec.04　39163-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

© 1999-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。